(BricsCAD V16、V17 対応 BJ 製品用) FlexNet

ネットワークライセンス用インストールガイド

BricsCAD 及び BJ 製品をネットワークライセンスでご使用いただく為のインストールガイドです。 ネットワークライセンスにて運用されます場合は、必ずお読みください

本インストールガイドには、BricsCAD、ビージェーソフト製品のライセンス管理サービスインストール説明、及び下記についての説明が含まれております。

- ・BricsCAD クライアントインストーラの作成
- ・ライセンス借用・返却機能
- ・ライセンスモニタ機能
- ・FlexNet で使用できるオプションファイル構文(抜粋)
- ・環境引継ぎツール
- ・ライセンスログ解析ツール

本インストールガイドで使用するメディア

・アルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービス(メディア番号 20446 以降) ・ビージェーソフト製品

- **BJ**-MechaTool
- BJ-MechaTool Pro
- **BJ**-Electrical
- BJ 変換・JW・SXF
- BJ サーバー連続印刷 等
- (アルファテック製品含む)
- ・FlexNet オプション(ビージェーソフト製品用 ライセンス借用・返却/ライセンスモニタ)



本インストールガイドについて

FlexNet ネットワークライセンス用インストールガイド(以降本書)は BricsCAD 及びビージェーソフト製品のネットワークインストールについて説明するものです。

各ソフトウェアで本書に説明のある設定・インストールを始める前に、Windows や BricsCAD、ビージェーソフト 製品(以降 BJ 製品)などをご使用になるネットワーク環境などが正しく動作することを、あらかじめご確認ください。

本書の画面ダンプは一例です。実際の画面とは異なる場合もあります。

ご注意

- 本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

BricsCAD 及びそのロゴは Bricsys nv の商標または登録商標です。

<<このページは白紙です>>

目次

I.概要	1
1. ライセンスサーバー動作環境	2
2. ライセンスファイルについて	3
1. ライセンスファイル	3
2. ライセンスファイル発行と、出荷の流れのフロー	3
1. アイセンスファイル発行と、出荷の流れのフロー 3 2. ライセンスファイル発行と、出荷の流れのフロー 3 3. バージョンアップ・ライセンス増設時のライセンスファイル 3 3. 作業内容 4 1. サーバー作業 4 2. クライアント作業 4 II.ライセンスファイルの取得 5 1. ライセンスファイルの取得 6 1. ツールダウンロードのご案内 6 2. サーバ情報の書き出し 6 3. サーバー情報ファイルの政得 8 4. サーバー情報ファイルの政得 9 2. 更新ライセンスファイルの取得 10 1. ライセンスファイルの取得 10	3
3. 作業内容	4
1. サーバー作業	4
2. クライアント作業	4
Ⅱ.ライセンスファイルの取得	5
1. ライセンスファイルの取得	6
1. ツールダウンロードのご案内	6
2. サーバ情報の書き出し	6
3. サーバー情報ファイルの確認	8
4. サーバー情報ファイルの送付	8
5. ライセンスファイルの取得	9
2. 更新ライセンスファイルの取得	10
1. ライセンスファイルの更新が必要となるケース	10
2. BricsCAD 製品バージョンアップによる更新ライセンスファイルの取得	10
3. BJ 製品バージョンアップによる更新ライセンスファイルの取得	10
4. ライセンスサーバの変更による更新ライセンスファイルの取得	
Ⅲ.ライセンスサーバー作業	11
1. ライセンス管理サービスの新規インストール	12
1. アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインストール	

2. Windows ファイアウォールの設定......15

1. ライセンスファイルのコピー	23
2. LMTOOLS の起動とサービスの作成と開始	23
3. 動作確認	
4. サービスのアカウントの変更	
4. 複数ライセンスファイル取得時の設定	
1. 複数サービスの作成	
2. 各サービスの開始方法	
5. ライセンスファイルの変更	33
1. ライセンスファイルの取得	
2. ライセンスファイルの置き換え	
3. ライセンスの確認	
4. ライセンスファイル更新時のクライアント動作	

IV.インストール(クライアント)	35
1. インストーラの確認	
1. BricsCAD/BricsCAD オプション	
2. ビージェーソフト製品	36
2. BricsCAD のインストール	
1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について	
2. BricsCAD インストールの実行	
3. BricsCAD Communicator インストールの実行	
3. ビージェーソフト製品のインストール	41
1. インストーラについて	41
2. ビージェーソフト製品のインストールの実行	41
4. ビージェーソフト製品ライセンス管理	45
1. ライセンス形式の設定の切り替え	45
2. ライセンス形式の設定	46
5. ビージェーソフト製品の借用オプション	
1. FlexNet オプションのインストール	

V.BricsCAD クライアントインストーラ......51

1. クライアントインストーラ	52
1. BricsCAD クライアントインストーラとは	52
2. クライアントインストーラの作成準備	52

3. クライアントインストーラの作成	53
4. クライアントインストーラの確認	62
2. プロファイル初期設定ファイル	63
1. プロファイル初期設定ファイルについて	63
2. プロファイル初期設定ファイルの作成	63
3. 設定ファイル	65

1. オプションの種類
1. ライセンスの借用
 ライセンスモニタ
3. オプションメニューについて
2. ライセンスの借用と返却(BricsCAD)
1. BricsCAD ライセンスの借用69
2. BricsCAD ライセンスの借用期限の確認70
3. BricsCAD ライセンスの返却70
3. ライセンスの借用と返却(BJ 製品)
1. BJ 製品ライセンスの借用
2. BJ 製品ライセンスの借用期限の確認と返却74
4. ライセンスモニタ(BricsCAD)
1. ライセンス情報の確認
2. クライアント情報の確認
5. BJ 製品ライセンスモニタ
1. ライセンス情報の確認
2. クライアント情報の確認
3. クライアント ライセンスの取得
4. クライアント ライセンスの返却

1. ライセンスサービスのバージョンアップ	80
1. 新バージョン対応メディア送付時期	
2. 新バージョンご提供メディア	80
3. バージョンアップ作業の流れ	80
2. BricsCAD バージョンアップ作業	

1. メディアの準備	81
2. ライセンス使用中アプリケーションの確認	81
3. サービスの停止(サーバ)	81
4. アルファテックライセンス管理サービスの更新(サーバ)	82
5. ライセンスファイルの更新	85
3. BricsCAD のバージョンアップ(クライアント)	
1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について	
2. BricsCAD インストールの実行	
4. BJ 製品のバージョンアップ(クライアント)	
1. インストーラについて	
2. ビージェーソフト製品のインストールの実行	

VIII.付録	93
1. FlexNet オプションファイル	94
1. FlexNet オプションファイル	
2. FlexNet オプションファイル制限	
3. オプションファイル名	
4. オプションファイルの書式	
2. FlexNet オプション構文	96
1. オプションファイルキーワード	
2. 製品ライセンスコード(フィーチャー名)	
3. 識別	96
4. ライセンスの返却(タイムアウト)	
5. ライセンス使用の許可	
6. グループの定義記述例	
7. 最大使用ライセンス数の指定	
8. ライセンス借用の制限と禁止	
3. 環境設定引継ぎツール	100
1. プログラム名	
2. 移行対象	
3. オプション	
4. プロファイルの移行	
5. 実行方法	
6. 制限事項	

4. ライセンスログ解析ツール	
1. プログラム名	
2. 操作手順	
3. ログファイル	
4. ログファイルの書式	
5. CSVファイルフォーマット	
6. EXCEL でグラフ化する手順	

I. 概要

本書の概要を説明します。

1. ライセンスサーバー動作環境

ライセンスサーバには、アルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービスをインストールします。 サーバの動作環境につきましては、BricsCAD ネットワーク版、BJ 製品ネットワーク版共通です。

アルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービスの操作環境について説明します。

ネットワークライセンス管理として FlexNet Publisher (Version 11.13.1) を採用しています。

動作環境につきましては FlexNet Publisher のバージョンに依存します。

- OS
- : 以下の OS の 32 ビット版及び 64 ビット版をそれぞれサポートします。
 - 日本語版 Windows Server 2012 R2
 - 日本語版 Windows Server 2012
 - 日本語版 Windows Server 2008 R2 SP1 以降
 - 日本語版 Windows Server 2008 SP1 以降(64bit は SP2 以降)
 - 日本語版 Windows10
 - 日本語版 Windows 8.1
 - 日本語版 Windows 8
 - 日本語版 Windows 7 SP1 以降

OS は、Windows Server 2012 R2, Windows Server2012, Windows Server2008 R2、Windows Server 2008の各サーバーOS を推奨します。

冗長型ライセンスサーバーは、Windows Server 2012 R2,Windows Server 2012,Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 環境のみサポートします。 Windows 8.1/Windows 8 / Windows 7 はサポートしていません。

CPU : Pentium 4 以上 1.2GHz(最低)

ネットワーク インターフェース カード(NIC)必須

プロトコル : TCP/IP (IPv4)

仮想環境 : FlexNet Publisher のリリースノート記載サポート

VMware Workstation 9

VMware ESX 4.1/ESXi 4.1, 5.0, 5.1

Citrix xenServer 6.0, 6.1, 6.2

Microsoft Hyper-V

- ・Windows Server 2008 R2 SP1 以降
- + Windows Server 2012

2. ライセンスファイルについて

BricsCAD、BJ 製品をネットワーク版では専用のライセンスファイルが必要となります。ライセンスファイルについて説明いたします。

1. ライセンスファイル

BricsCAD、BJ 製品をネットワーク版でご使用いただきます場合、ネットワークライセンス(FlexNet)用のライセン スファイルの発行が必要です。

ライセンスファイルは、製品納品前に作成いたしますが、ライセンスファイルを作成する際にはライセンスを管理 するサーバ情報が必要となります。

ライセンスファイルはサーバ情報を元に発行いたします。

その為**インストール作業の前に、**ユーザー様にサーバー情報を取得していただき、その情報を弊社まで送付 していただく作業が発生いたします。

2. ライセンスファイル発行と、出荷の流れのフロー

Bricscad NW FlexNet のインストールでは以下の作業が必要です。



※1 詳細手順につきましては、「II.ライセンスファイルの取得」(p5)に記載しております。

※2 必須ではありません。

3. バージョンアップ・ライセンス増設時のライセンスファイル

バージョンアップ時など、既にネットワークライセンスをご使用の場合、サーバ情報取得のための事前作業は発生いたしません。

既存のサーバ情報でライセンスファイルを作成いたします。 ※サーバご変更時には「サーバ変更に伴う誓約書」での申請が必要です。 事前にサポート(support@bj-soft.jp)までご連絡をお願いいたします。

3. 作業内容

BricsCAD 及び BJ 製品をネットワークライセンスでご使用いただくための作業について説明します。

1. サーバー作業

アルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービス(AlfatechFL)のインストール

ファイヤーウォールの設定

ライセンスサービス(Network License Manager)の開始

2. クライアント作業

BricsCAD のインストール

専用のクライアントインストーラを使用してインストールを行います。

クライアントインストーラでは BricsCAD、サーバ情報接続情報(BricsCADNW)、BricsCAD 用ライセンスモニタ、 借用機能オプションをインストールします。

クライアントインストーラはユーザ様での作成が可能です。

弊社からは、初回ご購入時と、バージョンアップ版リリース時に、その時点の最新 BricsCAD バージョンで作成 しましたものを出荷させていただいております。

ビージェーソフト製品 (BJ-Electrical、BJ-MechaTool など)のインストール

ご購入製品に応じたインストールの説明項目をご参考ください。

Ⅱ.ライセンスファイルの取得

ライセンスサーバーで使用するライセンスファイルについて説明します。

各作業は、ライセンスサーバに Administrator または管理者権限のあるユーザでログオンして実行してください。

1. ライセンスファイルの取得

ライセンスファイルは、アルファテックから発行させていただきます。

ライセンスファイルの発行の際には、対象となるすべてのサーバーのホスト名、ネットワークカード ID などの情報が 必要となります。

1. ツールダウンロードのご案内

通常は事前に、下記の「サーバー情報事前取得ツールページ」をご担当者様にメールにて案内させていただきます。

(サーバ情報事前取得ツールページ)

http://www.bj-soft.jp/BRICSCADDOWNLOAD/NetworkFlex.html

上記ページにて以下のツールとエクセルのダウンロードが可能です。

ライセンスファイル作成に必要なサーバ情報を取得するためのツール

BricsCADDefault プロファイル設定書き出し項目エクセル

2. サーバ情報の書き出し

事前にダウンロードされました圧縮ファイルを解凍し、Imtool.exe などをサーバにコピーしてください。

- 1) ライセンスサーバ上で解凍先の「lmtool.exe」をダブルクリックして実行します。
- 2) 起動した「LMTOOLS」ダイアログの「System Settings」タブをクリックします。

CO/LICCI 185 1 115 - 5 -	San 22 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2	Jerver Status Jerver E	hags coning services bonomin
Hostid Settings		Time Settings	
Computer/Hostname	Server-PC	System Time Zone	IIII (fw€II)
Username	Admin	GMT Time	Tue Aug 20 06:04:48 2013
CPU ID		Difference From UCT	4294966756
IP Address	192.168.2.149	MSDOS Time	15:04:48
Ethernet Address	005-29-2340		
Disk Volume Serial	10000406	Local Time	1376978688
Number FLEXID		Windows Directory	C:\Windows
			Save HOSTID Info to a File
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

ネットワークカードを複数使用されている場合でも、上記で表示される Ethernet Address は1 つだけです。 次の3)で書き出されたファイルには、全てのネットワークカードの Ethernet Address が書き出されます。 3) [Save HOSTID info to a File]ボタンをクリックし、任意のファイル名で保存します。

ce/License File Syst	tem Settings Utilities Start/Stop/Reread	Server Status Server D)iags Config Services Borrowin
Hostid Settings		Time Settings	
Computer/Hostname Include Domain	Server-PC	System Time Zone	IIII (fw€II)
Username	Admin	GMT Time	Tue Aug 20 06:04:48 2013
CPU ID		Difference From UCT	4294966756
IP Address	192.168.2.149	MSDOS Time	15:04:48
Ethernet Address	005-29-2240		
Disk Volume Serial	d82/348/	Local Time	1376978688
Number FLF×ID		Windows Directory	C:Windows
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		Save HOSTID Info to a File
	*		

名前を付けて保存			— ×
🚱 🔵 🗢 📑 🕞 २२७३	ジリ・ドキュメント・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ドキュメントの検索	R 🖌
整理 👻 新しいフォル	ダー	-	0
* 🧊 ライブラリ	ドキュメント ライブラリ 対象フォルダー: 2か所	並べ替え: フォ	ルダー 🔹
■ ドキュメント	名前	更新日時	種類
📓 ピクチャ			
🗄 ビデオ	検索条件に一致する項目	目はありません。	
まユージック E			
ミュージック ド マンピューター			
 ♪ ミュージック ■ ■<!--</td--><td></td><td></td><td></td>			
 ♪ ミュージック ■ コンピューター ▲ ローカルディス 	۰ (m		
 ♪ ミュージック ■ コンピューター ▲ ローカル ディス ファイル名(N): Serv 	۲۰۰۲ er-PC1.txt		
 ミュージック ニンピューター ローカルディス ファイル名(N): Serv ファイルの種類(I): All Fi 	۲۰۰۰ ۲۰۰۰ ۲۰۰۰ ۲۰۰۰ ۲۰۰۰ ۲۰۰۰ Ies(*.*)		

分散・冗長サーバー構成の場合

分散・冗長サーバー構成などで、複数のサーバーを使用されます場合、各サーバーマシンで上記 2. から 4. の手順を繰り返してください。

保存されたファイルがどのサーバ情報のファイルなのか、(例えば冗長構成の場合、どのファイルがマスター サーバー情報なのか、セカンダリーサーバー情報なのかなど)が明確に分かるように作成してください。

(例) ファイル名末尾に冗長構成の順番となる数値を入力した例

LS1.txt (マスターサーバー)、LS2.txt 、LS3.txt

3. サーバー情報ファイルの確認

1) 保存されたサーバー情報ファイルをメモ帳などで開きます。

2) サーバー情報ファイル内の Ethernet Address:の下に Physical Address 情報が記載されています。

記載内容を確認します。(情報が1つのみの場合と2つ(複数)記載されている例)

- ■ネットワークカード 1 枚の例
- ■ネットワークカード 2 枚(複数)の例



上記、右側例のように「Ethernet Address:」以下にある情報にスペース区切りで2つ以上の記載がある場合、 ネットワークカードは複数装着されております。ご使用のカードアドレス情報を控えてください。

3) サーバー情報ファイルは、破棄終了してください。

※社外からライセンスを取得されます場合、社外から接続時のサーバー名も必要となります。

御社内の情報の確認をお願いいたします。

4. サーバー情報ファイルの送付

書き出したすべてのサーバー情報ファイルを、弊社からご案内させていただきましたメールにご返信ください。 または support@bj-soft.jp 宛に送付してください。

※複数のカードアドレスをご使用の場合、ご使用のカードアドレス情報の記載をお願いいたします。

メール本文には、以下の情報の記載もお願いします。

登録ユーザー名(法人の場合は会社名とご担当者名、個人の場合はお名前)

ネットワークカードが複数装着されている場合、使用するカードのアドレス

外部からライセンスを取得される場合、社外から接続時のサーバー名

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象のすべてのサーバー のサーバー情報の書き出しファイルと、②③に該当する情報を送付してください。

5. ライセンスファイルの取得

送付いただきましたサーバ情報を元に弊社(アルファテック)にてライセンスファイルを作成いたします。

製品(ライセンス管理サービス、クライアントインストーラ等)同梱、またはライセンスファイル単体にて御社に送付 させていただきます。

2. 更新ライセンスファイルの取得

BricsCAD のライセンス情報に変更がありました場合(BricsCAD ライセンス数の変更、バージョンアップなど)ライセンスファイルの更新が必要です。

1. ライセンスファイルの更新が必要となるケース

- 1) BricsCAD/BJ 製品の増設
- 2) BricsCAD/BJ 製品のバージョンアップ
- 3) ライセンスサーバの変更

2. BricsCAD 製品バージョンアップによる更新ライセンスファイルの取得

ライセンスファイル取得についてのお客様作業はございません。

ご購入(または前回発行)時と同じ、既存のライセンスファイルのサーバ情報をもとに弊社で作成し提供させていただきます。

3. BJ 製品バージョンアップによる更新ライセンスファイルの取得

ライセンスファイル取得についてのお客様作業はございません。

ご購入(または前回発行)時と同じ、既存のライセンスファイルのサーバ情報をもとに弊社で作成し提供させていただきます。

All_in(Subscription)による新規バージョンのリリースの際には、新バージョン用のメディア(ライセンス管理サービス、ご購入製品(BricsCAD クライアントインストーラ、BJ 製品インストーラ等)、ライセンスファイル)をご提供させていただきます。

BricsCAD 新バージョンリリースより1から2ヶ月後を目処に、該当ユーザ様に一斉送付させていただいております。

お急ぎの場合は弊社サポート(support@bj-soft.jp)までご連絡をお願いいたします。

4. ライセンスサーバの変更による更新ライセンスファイルの取得

ライセンスファイル取得の前に、「ライセンス管理サーバ変更依頼書・誓約書」のご提出が必要です。

詳細につきましては営業担当者までご連絡をお願いいたします。

新サーバにて本マニュアルの「新規ライセンスファイルの取得」をご参考いただきまして、サーバ情報の書き出 しと取得をお願いいたします。

Ⅲ.ライセンスサーバー作業

ライセンスサーバーでの作業として、ライセンス管理サービスのインストール、ライセンスファイルの確認方法、 例外ポートの設定、サービスの作成と起動、ライセンスファイルの更新などを説明しています。

Administrator または管理者権限のあるユーザでログオンして実行してください。

1. ライセンス管理サービスの新規インストール

サーバーPC にアルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービス(AlfatechFL)を新規インストールします。 インストール作業を行う前に、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して以降のインストール作業を行ってください。

1. アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインストール

- 1) Administrator または管理者権限のあるユーザでログオンしてください。
- 2) ライセンス管理 のメディアをメディアドライブにセットします。

自動的にインストーラが起動し、[Bricscad NW セットアップ] ダイアログを表示します。

[Bricscad NW セットアップ] ダイアログが自動的に起動しない場合は、エクスプローラ等で ROM にある BricscadNWSetup.exe をダブルクリックして起動してください。

3) インストールする製品を選択します。

「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインストール」ボタンをクリックします。



4)「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストーラが起動します。 [次へ(N)>]ボタンをクリックします。

岗 アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス (x86)	
アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス・セップ ウィザードへようこそ	wh7 tuech
インストーラは アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス をインスト 要な手順を示します。	ールするために必
警告: このコンピュータ プログラムは、日本国著作権法および国際条約 す。このプログラムの全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物 の侵害となりますのでご注意ください。	より保護されていま を頒布すると著作権
< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

5) 使用許諾契約の確認

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。

注意深くお読みいただいた上、すべての条項に同意いただける場合は[同意する(A)]を選択し、[次へ (N)>]ボタンをクリックします。

🗒 アルファテック FlexNet	ライセンス管理サービス (x86)	
使用許諾契約書		atech
使用許諾契約書をお読みくだ からし次へ」をクリックしてくだ	さい。以下の条件に同意される場合は[同 さい。その他の場合は[キャンセル]をクリ・	憶する]をクリックして ックしてください。
ソフトウェア使用計 アルファテック株式会社 約似下「本契約」に含。 製品の使用権を許諾しま	F 諾契約 似下「当社」はお客様似下「使用者」 まれるすべての条件に同意した場合に限 す。	▲)が本使用許諾契 り、本バッケージ
第1条 - 契約の成立 本契約は、使 時点で成立し また、使用者	- 用者が対価を支払って本パッケージ製品 ます。 は弊社所定のユーザ登録手続きを完了し	品の引渡しを受けた した後、初めて当社 ≂
回意しない(D)	💮 同意する(A)	
	く戻る(B) 次へ(N)	> キャンセル

6) インストールするフォルダを選択し、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

ノアルファテック FlexNet ライゼンス管理サービス (X86)	
インストール フォルダの選択	latech
インストーラは次のフォルダへ アルファテック FlexNet ライセンス管理	里サービス をインストー
レンスす。 ニのフォルダIにインストールするIコは[〕次へ]をクリックしてください。別 いするIコは、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。 コキルダ(E)・	のフォルダにインストー
C:¥Program Files (x86)¥Alfatech¥	参照(R)
	ディスク領域(D)

7) インストールの確認が表示されます。[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



8)「インストールが完了しました」が表示されます。

「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストールは完了です。

[閉じる(C)]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

ピアルファテック FlexNet ライセンス管理サービス	(x86)	
インストールが完了しました。	Alle	tech
アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス は正し 終了するには、 [閉じる]をクリックしてください。	〈インストールされま	ました。
(長な(日)	開(30)] [キャンセル]

2. Windows ファイアウォールの設定

ライセンスサーバー上の Windows ファイアウォールが有効な場合、例外ポートの登録が必要です。 ライセンスファイルメディア、またはメールで取得されたライセンスファイル内に使用するポート情報が記載されていま す。

ご確認後例外ポートとして登録してください。ポート番号は固定ではありませんので、必ずご確認ください。

1. ポート番号の確認

取得したライセンスファイル(.lic)をメモ帳で開き、ポート番号を確認します。

冗長サーバー例

BricsCAD のライセンスファイル内容を確認します。

□ 012345BricsCADProV15.lic - メモ帳 ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H) SERVER SERVER-PC1 000xxrfaxxxx 27100 SERVER SERVER-PC2 000xxrfaxxxx 27100 SERVER SERVER-PC3 000xxrfaxxxx 27100	SERVER の行の末尾には、 BRICSCAD サービス用の lmgro のポート番号が記載。	d.exe
USE SERVER VENDOR BRICSCAD port 49684 FEATURE BCADNW_PRO DR100000 15.0 permanent 2 VENDOR STRING=ID:***** BORROW=**** SIGN="0099 EAE4 8565 F57B 7767 518C 5B4E 0F00 30 E780 E4E3 8685 D946 9232 0543"	VENDOR の行の末尾には、 BRICSCAD.exe 用のポート 番号が記載。	

他製品 (BJ-Electrical、BJ-MechaTool など)も FlexNet で使用される場合、他製品のライセンスファイルをメモ 帳で開き、ポート番号を確認します。

 ③ BJE2016_BJM2016.lic - メモ帳 ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘレプ(H) SERVER SERVER-PCI 000xxxfaxxx 27101 SERVER SERVER-PCI 000xxxfaxxx 27101 	SERVER の行の末尾には、alfaflex サービス用の lmgrd.exe 用ポート番 号が記載。
SERVER SERVER -PC3 000xxxfaxxx 2710 USE SERVER -PC3 000xxxfaxxx 2710 USE SERVER VENDOR alfaflex port 59684 FEATURE BJE alfaflex 17.0 permanent 10 BORROW=4320 SIGN="00AA 40 9068 60F8 25D6 3157 DADB C890 FC3D C864 2D02 A066 EEDA DAA4 CAE4 E627 A292 3972 378D 59FA" FEATURE BJM alfaflex 17.0 permanent 10 BORROW=4320 SIGN="03A2 15 67DE D910 A330 21F5 46AE F573 121A FAB1 C200 CA48 C0F2	ygg y VENDOR の行の末尾には、 ⁷⁹⁴ alfaflex.exe 用のポート番号が記載。 100 y DEB
BASS 1170 CEFS F300 ASOC 3580 9560	•

サーバー1 台の例(BricsCAD と Alfatech、BJ-SOFT 製品のライセンスファイルは 1 つに纏められます)

(ポート番号を指定したライセンスファイル)

Intersection Big BricsCADV15_BJ2016.lic - 义王帳	SERVER の行の末尾には、
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示0.0 ヘルフ(H)	BRICSCAD サービス用、alfaflex
SERVER SERVER-PCOD 000xxxfaxxx1 27100	サービス共通の lmgrd.exe 用ポート
VENDOR BRICSCAD port=49684 VENDOR alfaflex port=59684	番号が記載。
TEATORE Dobining The Discours 15.0 permanent_2 VENDOR_STRING=1D:: BORROW=***** BORROW=***** SIGN="0099 EAE4 8565 F57B 7767 518C 5842 FEATURE DLE alfaflex 17.0 permanent 10 BORROW=***** SIGN="00AA - 9068 60F8 2506 3157 DADB C902 C604 2D02 A066 EEDA AdA6 C424 2627 A292 3972 37BD 59FA" FEATURE DUM alfaflex 17.0 permanent 10 BORROW=*4320 SIGN="00AA - 902 4066 EEDA 4627 A292 3972 37BD 59FA" FEATURE BUM alfaflex 17.0 permanent 10 BORROW=*4320 SIGN="03A2 670E D9IC A330 21F5 46AE F573 121A FAB1 C200 CA48 CCF2 BA53 117C CEF3 F3CD A5CC 359C 95E0" "04A8 CCF2	VENDOR 行は、2 行です。 BRICSCAD.exe、alfaflex. exe 各末尾に各ベンダーのポート番 号が記載。
	-

(ポート番号未指定のライセンスファイル)

BricsCADV15_BJ2016.lic - メモ帳	SERVER の行の末尾の
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	ポート指定け " 空 "
SERVER SERVER-PCOD DODxxxfaxxxx	この場合 lmgrd.exe 用ポートは
VENDOR BRICSCAD port=49684 VENDOR alfaflex port=59684	27000~27009の間で空いている
FEATURE BCADNW_PRO BRICSCAD 15.0 permanent 2 VENDOR STRING=ID:* BORROW=**** SIGN="D099 EAE4 8565 F578 7767 518C 5B4E 0F E780 E4E3 8685 D9A6 9232 0543"	ポートが動的に割り付けられます。
FEATURE BJE alfaflex 17.0 permanent 10 BORROW=4320 SIGN="00AA 4 9C8B 6CF8 25D6 3157 DADB C89C FC3D C864 2D02 A066 EEDA DAA4 CAF4 E627 A292 3872 378D 59FA"	D9B ¥ 179A ¥
FEATURE BJM alfaflex 17.0 permanent 10 BORROW=4320 SIGN="03A2 1 870E D91C A330 21F5 46AE F573 121A FAB1 C200 CA48 CCF2 BA53 117C CEF3 F3CD A5CC 359C 95E0"	9DC ¥ 7DEB ¥

※ご注意※

確認後のファイルは必ず破棄終了してください。編集・上書きされた場合、ライセンスが認識できなくなる場合があります。

その場合、ライセンスファイルの再発行(ライセンスファイル発行の保守契約に入られていない場合有償)が 必要となります。

※分散、冗長サーバー構成などでサーバーを複数使用の場合、対象サーバーすべてに対して作業を行って ください。

2. Windows ファイアウォールへの例外プログラムと例外ポートの追加

ポート番号はライセンスファイル記載の27100、49684、59684を設定します。

ライセンスファイル1行目のポート番号が未指定の場合、lmgrd.exe、49684、59684を設定します。

ライセンス形態やライセンスサーバーの構成によって設定するポート数が違いますのでご注意ください。

ライセンスファイル1行目がポート番号27100の場合の操作例

- 1) [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を選択し「詳細設定」を開きます。
- 2) 受信の規則]を選択し、[新しい規則]をクリックします。
- 3) 「規則の種類」にて ポートを選択し[次へ]をクリックします。



4) プロトコルおよびポートにて、[TCP]を選択し、[特定のローカルポート]にてポート番号を入力します。[次へ] をクリックします。lmgrd.exe 用のポート番号を入力した例です。(ポート番号例:27100)

新規の受信の規則ウイザ−	-۴	×
プロトコルおよびポート この規則を適用するプロトコルとポ	ペートを指定してください。	
 ステップ: 視則の種類 フロトコルおよびポート 操作 フロファイル 名前 	TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか? ② TCP(T) ③ UDP(U) すべてのローカル ポートと特定のローカル ポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。 ③ すべてのローカル ポート(A) ③ 特定のローカル ポート(S): 27100 例 80、443、5000-5010]
	ブロトコルとボートの詳細を表示します く戻る(B) 次へ(N) > キャン	ıtıl

5) 操作にて、[接続を許可する]を選択し、[次へ]をクリックします。

● 新規の受信の規則ウイザー	٨	x
操作		
規則で指定された条件を接続が満	たす場合に、実行される操作を指定します。	
ステップ:		
◎ 規則の種類	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?	
 ブロトコルおよびボート 	◎ 接続を許可する(A)	
● 操作	IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。	
プロファイル	◎ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)	
• 名前	IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続 セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。	
	◎ 接続をブロックする(K)	
	操作の詳細を表示します	
		_
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

6) プロファイルにて、必要な項目にチェックを入力し、[次へ]をクリックします。

● 新規の受信の規則ウイザー	4	
プロファイル		
この規則が適用されるプロファイル	を指定してください。	
ステップ:		
● 規則の種類	この規則はいつ適用しますか?	
プロトコルおよびポート		
◎ 操作		
🧕 วือวราน	コンビューダーがその正乗下メインに接続しているときに2週用されます。	
• 名前		
	☑ パブリック(U) コンピューターがパブリック ネットワークの場所に接続しているときに適用されます。	
	プロファイルの詳細を表示します	
	< 戻る(B) ジスへ(N) > キャンセル	

7) 名前にて、規則の名称を入力します。(例:lmgrad.exe)[完了]をクリックします。

新規の受信の規則ワイサー	×
-石 町 この規則の名前と説明を指定してく	だい.
CONTRACTORICENTATESENCOC	rccv *0
ステップ:	
▶ 規則の種類	
プロトコルおよびポート	
• 操作	
プロファイル	名前(N):
名前	Imeranske
	説明 (オブション)(D):
	(く 戻る(B) 〕 元 了 (F) 「ギャンセル」

ライセンスファイル1行目のポート番号が未指定の場合の操作例

- 1) [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を選択し「詳細設定」を開きます。
- 2) [受信の規則]を選択し、[新しい規則]をクリックします。
- 3) 「規則の種類」にて プログラム を選択し[次へ]をクリックします。

					[10]
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)				
🗢 🤿 🔰 💼 🔒 🖬 💼					
🔐 ローカル ヨンピューター のセ 🛛 受信の規	8		操作		_
図 受信の規則 名前 3 送信の規則 1 短続セナーンレティの提 2 短続セナーンレティの提	グループ	プロファイル 有効 📩	受信の規則		•
2 (本市ビナーリケイシル)(本) ● 新規の定義 単一部 単純の単語 作成するファイア - 規則の建築 作成するファイア - 規則の建築 - ブログス- - 連行 - ブログス- - 通行 - 一一 - 一一 - 一一 - 一一 - 一一 - 一 - 一	のが用シイクテト ウォールの規則の種類を選択してください。 との種類の規則を作成しますか? ・ プログラム(P) フログラム(P) フログラム(P) アログラムの構成を参加する規則です。 ・ ホート(O) TOP または UDP ポートの規模を利用する規則 ・ の をないたいので、 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	です。 即 3週時です。 く 戻る(印) 〕 <u>ジ太へ(和) ></u>	₹¥¥ZEL	<	

4) 「プログラム」にて「このプログラムのパス」を指定します。

[参照]ボタンをクリックして、インストール先にある lmgrd.exe を選択します。[次へ]をクリックします。

🔐 新規の受信の規則ウイ	υ -κ
プログラム この規則が一致するプログラム	」の完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。
ステップ: ・ 規則の種類 ・ プログラム ・ 操作	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか?
● フロ <i>フ</i> +1ル ● 名前	● このプログラムの代ス(T): %ProgramFiles% (x36)¥Alfatech¥AlfatechFL¥Imgrd <i>exe</i> 例は C*Apath¥program.exe %ProgramFiles%¥browser¥browser <i>exe</i>
	プログラムの指定の詳細を表示します

例)

 $\label{eq:programFiles} \ensuremath{\$} \ensuremat$

5) 「操作」にて「接続を許可する」を指定します。[次へ]をクリックします。

	ザード エ
操作	
規則で指定された条件を接続	売が満たす場合に、実行される操作を指定します。
ステップ	
● 規則の種類	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?
プログラム	後にあたますする(A)
🧔 操作	IPsecを使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。
プロファイル	◎ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)
● 名前	IPsecを使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec ブロパティ内の設定と接続 セキュリティ規則リード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。 カスタマイズ(2) ⑦ 接続をブロックする(K)
	<u>操作の詳細を表示します</u> 〈戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6) 「プロファイル」にて 必要な項目にチェックを入力し、[次へ]をクリックします。

一個 わたいスコーンパース シー	9-1×
プロファイル この規則が適用されるプロファ	イルを指定してください。
 ステップ: 規則の種類 クログラム 決作 ブロファイル 名前 	この規則はいつ適用しますか? マ ドメイン(D) コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。 マ フライベート(P) コンピューターがプライベートネットワークの場所に接続しているときに適用されます。 マ パブリック(U) コンピューターがパブリックネットワークの場所に接続しているときに適用されます。
	プロファイルの詳細を表示します
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7) 「名前」にて 規則の名称を入力します。(例:lmgrd.exe) [完了]をクリックします。

🔐 新規の受信の規則ウイザー	ĸ
名前 この規則の名前と説明を指定してく	ださい。
 ステップ: 規則の種類 ブログラム 操作 ブロファイル 名前 	名前(N): Imgrdexel IØBJ (オプション)(D):

alfaflex.exe、BRICSCAD.exe のポートの指定例

(ライセンスファイル1行目のポート番号が指定されている場合)を参考に、alfaflex.exe(ポート番号 59684)と BRICSCAD.exe(ポート番号 49684)を追加します。

下記イメージは alfaflex.exe、BRICSCAD.exe、lmgrd.exe を登録した例です。

	ndows ファイアウォール ヘルプ(H)					
🗢 🔿 🖄 🖬 😼 🖬 🖬						
🔗 ローカル コンピューター のセ	受信の規則					
1000 受信の規則	名前	グループ	プロファイル	有効	操作	*
	🖉 alfaflex.exe		ৰুশ্ব	はい	許可	
■ 接続ビキュリティの規則	Ø BRICSCAD.exe		<u>ৰ</u> শ্ব	はい	許可	111
· 12 ml/	🕑 Imgrd.exe		すべて	はい	許可	
	🔘 BranchCache コンテンツ取得 (HTTP	BranchCache - コンテン	すべて	いいえ	許可	_
	BranchCache ピア検出 (WSD-受信)	BranchCache - ピア検出 (すべて	いいえ	許可	
	BranchCache ホスト型キャッシュ サ	BranchCache - ホスト型	すべて	いいえ	許可	
	·····					

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して作業を行って ください。

3. ライセンス用サービスの作成と起動

ライセンス用のサービスを作成し、開始する手順について説明します。

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して以降の作業を 行ってください。

1. ライセンスファイルのコピー

製品メディア、またはメールで取得されたライセンスファイルを、各サーバーの「アルファテック FlexNet ライセンス管 理サービス」のインストール先フォルダ(例: C:¥Program Files¥Alfatech¥Alfatech¥L)以下にコピーします。

2. LMTOOLS の起動とサービスの作成と開始

- 1) [スタート]ボタンから、[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTOOLS] をクリックします。
- 2) LMTOOLS が起動すると「Service/License」タブが表示されます。

「Configuration using Services」にチェックがついていることを確認します。

3) 「LMTOOLS ignoreslicense file path environment variable」にチェックを入力します。

vice/License File System Settings Services allow FLEXnet Servers	Utilities Start/Sto to run in the backgr	op/Reread Server Status ound.	Server Diags Config Ser	vices Borrowing
Server List	c	Configuration using License	File	
All all a san	c	Configuration using Service	s	
2.37		-		
1 Chora	24			
and the second	7			
		LMTOOLS ignores licen	se file path environment va	riables
		·	-	

4) 「Config Services」タブをクリックします。

Configure Service				12.2	
	<i>8</i>			Save Service	
Service Name	FlexIm Service 1	-		Remove Service	
Path to the Imgrd.exe file	E		Browse		
Path to the license	Г	<u></u>	Browse		
Path to the debug log file	F		Browse	View Log	Lot
C Start Samer at P	owarlin 🗖 like Se	ruices			
Path to the debug log file			Browse	View Log	e

以下の設定を行います。(設定後の画面例)

Configure Service			
			Save Service
Service Name	Alfatech Flexim		Remove Service
Path to the Imgrd.exe file	ogram Files (x86)¥Alfatech¥AlfatechFL¥Imgrd.exe	Browse	
Path to the license	atechFL¥25653_Servertest_BricsCADV15Pla2.lic	Browse	
Path to the debug log file	C:¥ProgramData¥alfaflex¥alfaflexJog	Browse	View Log
C Start Samar at P	amer Lin 🕞 🖂 Lise Services		

- ① Service Name:任意の名前を入力します。(例:Alfatech Flexlm)
- ② Path to the lmgrd.exe file :[Browse]ボタンをクリックし、lmgrd.exe を選択します。
 (例: C:¥Program Files¥Alfatech¥AlfatechFL¥lmgrd.exe)
- ③ Path to license file :[Browse]ボタンをクリックし、ライセンスファイルを選択します。
 (例: C:¥Program Files¥Alfatech¥AlfatechFL¥licfile.lic)
- ④ Path to the debug log file: [Browse]ボタンをクリックし、デバッグログファイルを選択します。

デバッグログファイルはインストールされません。出力先フォルダ、ファイルは任意に作成してください。

- ・デバッグログ出力先フォルダ作成例: C:¥ProgramData¥alfaflex
- ・デバッグログファイル作成例: C:¥ProgramData¥alfaflex¥alfaflex.log

FlexNet Publisher 11.13.1より、不要な管理者権限を付加しないように仕様が変更されています。

その為、デバッグログの作成先フォルダは %ProgramData% 以下などが推奨されます。

ログファイルの出力先フォルダは実在する必要があり、書き込み編集権限が必要です。

デバッグログファイルが存在しない場合は新たに作成されます。

デバッグログファイルはサービスの再起動時に既存のものを上書きします。

※上書きではなく、追加書き込みを行う場合は、パス名の先頭に+を追記してください。(例:+C:¥ProgramData¥alfaflex¥alfaflex.log)

先頭に + を追加された場合、[View Log]ボタンからのログ表示はできません。パスのエラーとなります。 直接エクスプローラなどから「alfaflex.log」をエディタまたはメモ帳などで開いてください。

随時書き込まれますのでファイル容量が増えます。定期的にバックアップされることをお勧めします。

- ⑤ Use Services: チェックします。(Network License Manager がサービスとして動作します)
- ⑥ Start Server at Power Up: チェックします。

(OS 起動時に Network License Manager が自動的に起動されます)

5) [Save Service]ボタンをクリックします。

e Edit Mode Help				1
rvice/License File System S	ettings Utilities Start/Stop/Reread Server Statu:	s Server Dia s s	Config Services	Borrowing
Configure Service			Save Sen	vice
Service Name	Alfatech Flexim		Remove Se	rvice
Path to the Imgrd.exe file	C:¥Program Files (x86)¥Alfatech¥AlfatechFL¥Img	Browse		
Path to the license	C:¥Program Files (x86)¥Alfatech¥AlfatechFL¥256	Browse		
Path to the debug log file	C:¥ProgramData¥alfafle×¥alfafle×Jog	Browse	View Log	Close Log
🔽 Start Server at P	owerUp 🔽 Use Services			

6) [Save Service]ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。[はい(Y)]ボタンをクリックし、設定値を保存します。



※以下のメッセージが表示された場合[OK]をクリックします。

7)の手順を行う前にサービスのログオン設定でアカウントの変更が必要になります。

「3.サービスのアカウントの変更」を実行後、7)の手順に進んでください。

Updating DACL	
FlexNet Licensing Service DACL h	nas been updated successfully

7)「Start/Stop/Reread」タブを選択します。

[Start Server]ボタンをクリックします。

ne cuit moue	пер						
Service/License File	System Settings	Utilities	Start/Stop/Reread	Server Status	Server Diags	Config Services	Borrowing
		Fle≫h	Vet license services in:	stalled on this cor	mputer		
		(Addate)	te of Hillidm				
-		_					
	Start Samar	1	Stop St	ruer l	ReRes	d License File	
	Start Server				Titertea	d License rile	
		-	🔽 Force Ser	ver Shutdown			
	Edit Advanced set	tings	NOTE: This bo	x must be check	ed to shut dow	n a license server	
			when licenses	are borrowed.			

サービスが開始します。

ervice/License File Syster	m Settings Utilities	Start/Stop/Reread	Server Status S	erver Diags	Config Services	Borrowing
	Flex	Net license services in	stalled on this compu	ıter		
	140	Nich Thildh				
	1					
s	tart Server	Stop S	erver	ReRea	d License File	
		Force Ser	rver Shutdown			
	Ivanced settings	NOTE: This bo when licenses	ox must be checked : are borrowed.	to shut dowr	i a license server	

ここまでの作業を、すべての対象サーバーにて実施後、次の動作確認を行ってください。

3. 動作確認

ライセンスサービスが正常に起動しているかを確認します。

1)「Server Status」タブを選択します。

HOULS by Flexera	Software LLC		
ile Edit Mode H	elp		
ervice/License File Sy	stem Settings Utilities Start/Stop/	Rerea <mark>t</mark> Server Status Server Diags	Config Services Borrowing
Helps to monitor the sta	tus ofnetwork licensing form Status Enquiry	Options	
			*

2) [Perform Status Enquiry]ボタンをクリックします。

下部にライセンスの状態が表示されます。正常な場合、トータルのライセンス数などが確認できます。

	incip.					1	1200 - 01 - 1
vice/License File	System Settings	Utilities	Start/Stop/Rere:	ad Server Status	Server Diags	Config Services	Borrowing
elps to monitor the	status of networ	klicensing					
			o	ptions	-		
			1	ndividual Daemon	1		
	Perform Status E	nquiry		ndividual Eastura			
		-		numuuan eature	1		
			5	Server Name			
					10		
-							_
Vendor daem	on status (o	n astreve	aw i:				
BRICSCAD:	UP v11.13.1						118
Feature usa	ge info:						
						and an and a second	
Users of BC.	ADNW_PI: (1	otal or	5 licenses 1	ssued; lotal	. or U lice	nses in use)	-
							and the second second

3) LMTOOLS はメニューより[File]・[Exit]を選択して終了します。

4. サービスのアカウントの変更

LMTOOLSの「Config Services」でサービスを保存したときに以下のメッセージが表示される場合があります。

FlexNet Publisher 11.13.1 より、不要な管理者権限を付加しないように仕様が変更されたため、指定したファイルの場所によってはサービスのアカウントを変更する必要があります。

1) Windows のコントロールパネルより「管理ツール」・「サービス」を起動します。

作成したサービス名(本書の例では Alfatech FlexIm)を選択し、右クリックメニューから「プロパティ」を選択します。

(Windows7 の例)

11日							8	= - [FII
コンピューターの簡単操作	名前		更新日時	種類	サイズ				
システムとセキュリティ	0				2.02				
すべてのコントロール パネル項目	Windows PowerShell Modules		2009/07/14 13:54	ショートカット	2 KB				
B RemoteAnn とデスクトップ接続	Windows X干U診断		2009/07/14 14:32	ショートカット	3 KB				
Windows Lindate	園 イベント ビューアー		2009/07/14 13:55	ショートカット	2 KB				
Windows ファイアウォール	■		2009/07/14 13:54	ショートカット	2 KB				
	コンポーネント サー	_ ピス	2009/07/14 13:57	ショートカット	2 KB				
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	🙆 サービス		2009/07/14 13:54	ショートカット	2 KB				
	0. ++- 127								×
■ ディスプレイ	ファイル(F) 操作(A	A) 表示(V) へルご	Ź(H)						
し デバイスとプリンター									
トラブルシューティング	A # 12770 #	Contraction of the second	14 114						-
トラブルシューティング ネットワークと共有センター	🔍 サービス (ローカ	◎ サービス (ロー	-カル)						
 トラブルシューティング ネットワークと共有センター はじめに 	🔅 サービス (ローカ	 ・サービス (ロー Alfatech Elevim 	-カル) タi	a ^	i#88 ##8	スタートア	マー ログオン		
 ■ トラブルシューティング ネットワークと共有センター はじめに パックアップと復示 	👒 サービス (ローカ	 サービス (ロー Alfatech FlexIm 	-カル) ลเ	前 ^	說明 状態	スタートア 手動	ッ ログオン Local System	n	ć
 ■ トラブルシューティング オットワークと共有センター はじめに パックアップと復元 パフォーマンスの情報とツール 	🤹 サービス (ローカ	 ・サービス (ロー Alfatech FlexIm サービスの開始 	-カル) 名i	前 ActiveX Installe Adaptive Bright	説明 状態 イン 1境	スタートア 手動 手動	ッ ログオン Local Syster Local Servici	n 2	ć
 ■ トラブルシューティング ■ ホットワークと共有センター ■ はじめに ● バックアップと復元 ■ パフォーマンスの情報とツール ■ フォント 	👒 サービス (ローカ	 ③ サービス (ロー Alfatech FlexIm <u>サービスの開始</u> 	- Jul) 名	前 ActiveX Installe Adaptive Bright	説明 状態 イン 見境	スタートア 手動 手動	ッ ログオン Local Syster Local Service Local Service	n e	
 ■トラブルシューティング ↓ ネットワークと共有センター ■ はじめに ● バックアップと復元 ■ パフォーマンスの情報とツール ↓ フォント ⑦ プロパヨ・レド第85 	ゆービス (ローカ)	 シ サービス (ロー Alfatech FlexIm サービスの開始 	-カル) 名	前 ActiveX Installe Adaptive Bright Application Exp	説明 イン… 環境… 間始(S) (5 h (c))	スタートア 手動 手動	ッ ログオン Local System Local Service Local Service Local System	n 2 2	Ċ
 ■ トラブルシューティング ネットワークと共有センター はじめに パックァップと復元 パフォーマンスの情報とツール フォント ブログラムと機能 オー・グ 	🧠 サービス (ローカ	9. サービス (ロー Alfatech FlexIm サービスの開始	-カル) 名(の) の)	Active X Installe Adaptive Bright Application Exp Application Iden	説明 イン 開始(S) 停止(O) 一時(F(L))	スタートア 手動 手動	ツ ログオン Local Syster Local Service Local Service Local Syster Local Service	n 2 2 1 2	
 ■トラブルシューティング ▲ ホットワークと共有センター ■ はじめに ● バックアップと復元 ■ パフォーマンスの情報とツール ■ フォーマンスの情報 ■ プログラムと機能 ● ホークパープ ■ ニーチョウント 	GA サービス (ローカ	9. サービス (ロー Alfatech FlexIm サービスの開始	(Jut-	Active X Installe Adaptive Bright Application Exp Application Iden Application Info	説明 状態 イン 現境 「停止(O) 一時停止(U) 再間(M)	スタートア 手動 手動	シー・・・ログオン Local Syster Local Service Local Service Local Syster Local Syster Local Syster	n e e n e n	
 トラブルシューティング ネットワークと共有センター はじめに バックアップと復元 バフォーマンスの情報とツール フォント ブログラムと機能 ホームグループ ユーザーアカウント ゲニーレーマカウント 	◎ サービス (ローカ)	9. サービス (ロー Alfatech FlexIm サービスの開始	(Jut-	Active Vinctalle Adaptive Bright Application Exp Application Iden Application Info Application Lay	説明 状態 ン 構境 構始(S) 停止(O) 一時停止(U) 再開(M) 五記載(F)	スタートア 手動 手動	レーロクオン Local System Local Servici Local Servici Local System Local System Local System Local System	n 2 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1	
 ■ トラブルシューティング ※ ネットワークと共有センター はじぬに パックアップと復元 パフォーマンスの情報とツール パフォーマンスの情報とツール プログラムと機能 ※ ホームグループ ユーザーアカウント 四 ロセンサーとその他のセンサー 	◎ サービス (ローカ	9 サービス (ロー Alfatech FlexIm サービスの開始	-101-) 24 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	n Actual Totalia Adaptive Bright Application Exp Application Info Application Info Application Info	説明 状態 (ン 情境 構造(C) (停止(O) 一時停止(U) 再間(M) 再起動(E)	スタートア 手動 手動	レーレージョン レocal Service Local Service Local Service Local Service Local Service Local Syster Local Service Local Syster Local Service	n e e n e n	
 ■ トラブルシューティング ネットワークと共有センター はじめに パックァップと復元 パフォーマンスの情報とツール フォント ブウガラムと機能 ホームグループ ユーザーアカウント 器 位置センサーとその他のセンサー ● 音声経験 	[™] サービス (ローカ	 サービス (ロー Alfatech Flexim サービスの開始 	-7014) 24 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	前 ActiveY Tostallo Adaptive Bright Application Exp Application Info Application Lay Application Man ASP.NET 状態サ	説明 状態 (ン 境境 構造(C) 停止(O) 一時停止(U) 再配動(E) すべての夕2	スタートア 手動 手動	レ ログラン Local Servic Local Servic Local Servic Local Servic Local Servic Local Servic Local Syster Local Syster Local Syster Local Syster Network Ser	n e n e n vice	
 ■ トラブルシューティング ネットワークと共有センター はじめに パックァップと復元 パフォーマンスの情報とツール フォント ブログラムと機能 ホームグループ ユーザーアカウント 血量センサーとその他のセンサー 雪声認識 201 		 サービス (ロー Alfatech Flexim サービスの開始 153種人標準/ 	-カル) [2] (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	和 ActiveX Totalle Adaptive Bright Application Exp Application Info Application Info Application Man Application Man ASPINET 状態サ	説明 状態 ン 環境 開始(S) (停止(O) 一時停止(U) 再間(M) 再起動(E) すべてのタフ 最新の情報に	スタートア 手動 手動 スク(K) こ更新(F)	y ロガオン Local System Local Service Network Service Network Service	n e n e n vice	
 ■トラブルシューティング ネットワークと共有センター はじめに ハックアップと復元 バフォーマンスの情報とツール フォント プログラムと報照 ホームグループ ユーザーアカウント 位置センサーとその他のセンサー ● 音声認識 ② 厚復 ② 管理ツール 			-カル) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3	前 Active V Totalle Adaptive Bright Application Exp Application Iden Application Info Application Info Application Man ASPINET 状態サ	説明 状態 イン 構造(5) 停止(0) 一時停止(U) 再起動(5) すべてのクジ 愚新の情報に プロパティ(スタートア 手動 手動 スク(K) (更新(F) R)	ッ ロガオン Local Syster Local Service Local Service Local Syster Local Syster Local Syster Local Syster Network Ser	n e e n e n vice	

2) (ローカルコンピュータ) サービス名 のプロパティ が表示されます。「ログオン」タブを選択します。

(ローカル コンピューター	-) Alfatech FlexIm のプロパティ	
全般 ログオン 回復	依存関係	
ログオン・		
◎ ローカル システム アカ □ デスクトップとの対	ウント(L) 話をサービス(ご許可(W)	
⑦ アカウント(T):	Local Service	参照(B)
パスワード(P):	**********	()
パスワードの 確認入力(C):	•••••	•
ユーザーアカウントのログ	<u>オン オブションの構成の詳細</u> を表示します	
	OK #+>>t	2ル 適用(A)
3) 「ローカルシステムアカウント」を選択し、[OK]をクリックします。

ゴーカル システム ア デスクトップとの オ デスクトップとの オ	カウント(L) 対話をサービスに許可(W)	
⑦ アカウント(T):		参照(B)
パスワード(P):		
バスリードの 確認入力(C):		
ユーザーアカウントのロク	<u> ヴオン オプションの構成の詳細</u> を	表示します

※サービスの開始について

(ローカルコンピュータ) サービス名 のプロパティの「全般」タブでもサービスを開始することが可能です。

直接サービスを開始された場合は、「3. LMTOOLSの起動とサービスの作成と開始」の7)の手順以降は不要です。

ここでは、サービスの開始を説明しておりません。「3. LMTOOLS の起動とサービスの作成と開始」の7)手順に 戻って開始と確認を行ってください。

4. 複数ライセンスファイル取得時の設定

製品ごとにライセンスファイルを取得しているなど、複数のライセンスファイルを使用されます場合、各ライセンスファ イルごとにサービスの作成が必要です。

取得例

BricsCAD 用のライセンスファイルとビージェーソフト製品のライセンスファイルがある場合など

1. 複数サービスの作成

サービスの作成・確認手順につきましては「3.ライセンス用サービスの作成と起動」をご参照ください。

設定例)	「Service Name」	
LMTOOLS by Flexera Software LLC	BricsCAD 用のサービス名を入力、下記の	
File Edit Mode Help	3 つのパスを指定、チェックを設定後、	
Service/License File System Settings Utilities Star	[Save Service]ボタンを押します。	Borrowing
Configure Service	Sam Sam	
Service Name BricsCAD FlexIm	Remove Ser	vice
Path to the Imgrd.exe file	atech¥AlfatechFL¥Imgrdexe	
Path to the license C#Program Files (x8)	6)#Alfatech¥AlfatechFL¥256	[Path to the license]
Path to the debug log file C:#ProgramData¥alfa	flex#bricsflex.log Browse View Log	BricsCAD 用のライセンスファ イルを指定します。
🔽 Start Server at Power Up 🔽	Jse Services	
「Path to the Imgrad.exe file」 BricsCAD,alfaflex.で同じパス の Imgrad.exe を指定します		「Path to the debug log file」 BricsCAD 専用の log ファイ ルを指定します。
· · · ingradient eine carro		
I MTOOLS by Elevera Software LLC	Service Name	
File Edit Mode Help	alfaflex 用のサービス名を入力、下記の	
Service/License File System Settings Utilities	Service]ボタンを押します。 Service	s Borrowins
Configure Service	Save Se	rvice
Service Name Alfatech FlexIm		andre I
	- Renove c	
Path to the Imgrd.exe file	86)¥Alfatech¥AlfatechFL¥Img Browse	
Path to the license Is (%6)¥Alfatech¥/	NfatechFL¥BJELicenseFile Jic Browse	「Path to the license」 他製品用のライセンスファイル
Path to the debug log file C#ProgramData¥al	faflex¥alfaflexJog Browse View Log	を指定します。
🔽 Start Server at Power Up 🔽	Use Services	
		[Path to the debug log file]
		alfaflex 用の log ファイルを指 定します。

ここまでの作業を、すべての対象サーバーにて実施後、次の動作確認を行ってください。

ご注意

同じベンダーで複数のサービスを開始することはできません。ベンダーにつきましてはライセンスファイルの 「VENDOR」行をご確認ください。 以下のライセンスファイルでは VENDOR は alfaflex となります。

BJE2016_BJM2016.lic - メモ帳	x
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
SERVER SERVER-PC1 DODxxxfaxxxx 27101 SERVER SERVER-PC2 DODxxxfaxxxx 27101 SERVER SERVER-PC3 DODxxxfaxxxx 27101 USE SEPVER	*
VENDOR alfaflex port=59684	
TEATORE DOE ATTAITEX 17-0 PERMANENT TO BORROW=4320 SIGN="ODAA 4D9B ¥ 9C6B 6CF8 25D6 3157 DADB C89C FC3D C864 2D02 A066 EEDA 179A ¥ DAA4 CAF4 F877 A292 3972 37BD 59FA"	
FEATURE BUM alfaflex 17.0 permanent 10 BORROW=4320 SIGN="03A2 19DC ¥ 670E D91C A330 21F5 46AE F573 121A FAB1 C200 CA48 CCF2 7DEB ¥ BA53 117C CEF3 F3CD A5CC 359C 95E0"	
	Ŧ

2. 各サービスの開始方法

1) 「Service/License file」タブを表示します。作成した2つのサービスが表示されます。



2)「start/stop/Reread」タブを選択し、[Start Server]ボタンを押します。サービスが開始されます。

ervice/License File	System Settings Util	ilities	Start/Stop/Reread	Server Status	Server Diags	Config Services	Borrowing
		FlexNe	et license services ins	stalled on this cor	nouter		
		Brics	OAD Flexim				
		_					
	Start Server		Stop Se	rver	ReRea	d License File	
	Edit Advanced settings		🦵 Force Ser	ver Shutdown			
			NOTE: This bo when licenses	×must be check are borrowed.	ed to shut dow	n a license server	

3) 「Server Status」タブを選択し、[Perform Status Enquiry]ボタンをクリックし、確認します。

ervice/License File System Settings Utilities Start/S	top/Rereat Server Status Server Diags Config Services Borrowing
Helps to monitor the status of network licensing	Options Individual Daemon Individual Feature Server Name

4)「Service/License file」タブを表示し、確認するサービスを選択後、2)、3)の手順を繰り返します。 作成されたすべてのサービスで開始と確認を実行してください。

5. ライセンスファイルの変更

本章は、製品、またはライセンス数の変更など、ライセンスファイルを取得しなおした場合にライセンスファイルを変更する手順について説明しています。ライセンスファイルを差し替える場合にご参考ください。

1. ライセンスファイルの取得

ライセンスファイルはアルファテックから発行します。ご変更状態に応じて送付いたします。 取得されましたファイルをサーバーの所定の場所にコピーしてください。

2. ライセンスファイルの置き換え

- 1) [スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理]-[LMTOOLS]を選択します。
- 2) LMTOOLS by Flexera Software, Inc の「Start/Stop/Reread」タブを選択します。
- 3) [Stop Server]を押します。
- 4) [Config Services]タブを選択します。
- 5) Path to the license file 項目で[Browse]ボタンをクリックし、新しいライセンスファイルを選択します。
- 6) [Save Service]ボタンをクリックし、表示するメッセージで[はい]をクリックします。
- 7)「Start/Stop/Reread」タブを選択し、[Start Server]ボタンをクリックします。

3. ライセンスの確認

- 1) 「Server Status」タブを選択し、[Perfrom Status Enquiry]ボタンをクリックします。
- 2) 下画面に使用できるライセンスが表示されることを確認してください。

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して作業を行って ください。

4. ライセンスファイル更新時のクライアント動作

ライセンスファイル変更中に、サーバーのサービスはストップします。

サービスがストップした状態で、BricsCADを起動すると以下のメッセージが表示され起動できません。

Δ	Bricscad ×
	License server machine is down or not responding.
	ОК

サーバのサービスをストップする前にクライアントが BricsCAD を起動していた場合、継続して BricsCAD の使用が可能です。

サーバからのライセンスの取得を BricsCAD 起動時に行うためです。BricsCAD 操作中はサーバへのライセンス確認は行われません。

BricsCAD を終了すると次の起動時に改めてライセンスを取得しようとするため、サーバのサービスが開始されるまで BricsCAD は起動できません。

<<このページは白紙です>>

IV.インストール(クライアント)

クライアントPC に製品をインストールする手順について説明します。

インストールに使用するクライアントインストーラは、初回(ご注文内容により)アルファテックが作成し、出荷物に 同梱されている場合もあります。

BricsCAD リビジョンアップにより、クライアントインストーラ内の BricsCAD を変更される場合は、必要に応じて再作成してください。

BJ 製品 (例: BJ-Electrical、BJ-MechaTool、BJ 変換・JW・SXF 等)を同じ PC にインストールされる場合は、製品メディアまたは BJ-SOFT の HP からダウンロードされました exe を使用してインストールしてください。

1. インストーラの確認

ご購入されました製品のライセンスによって、インストールメディアをご用意ください。

1. BricsCAD/BricsCAD オプション

BricsCAD クライアントインストーラメディアをご準備ください。

BricsCAD ネットワーク版のクライアントインストーラは、ご購入時の最新 BricsCAD のインストーラで作成し出荷 しております。

お手元にクライアントインストーラがありますかご確認をお願いいたします。

出荷後に、リビジョンアップされました BricsCAD、BricsCAD Communicator のクライアントインストーラが必要な 場合は、後の「I.BricsCAD クライアントインストーラ」をご参考いただきまして作成してください。

2. ビージェーソフト製品

ビージェーソフトおよびアルファテック製品のネットワーク版(FlexNet)をご購入されております場合、ご購入されました製品のメディアをご準備ください。

例:BJ-Electrical のメディア、FlexNet オプションのメディア 等

該当する製品

BJ-MechaTool

BJ-MechaTool Pro

BJ-Electrical

BJ 変換・JW・SXF

BJ サーバー連続印刷 等

2. BricsCAD のインストール

クライアントに BricsCAD (ネットワークライセンス版)をインストールします。

1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について

クライアントインストーラを使用してインストールを実施します。

クライアントインストーラには BricsCAD のグレード Classic、Pro、Platinum と オプション 別にインストールフォ ルダが管理されています。

複数の製品をご購入いただきました場合、以下のように製品ごとのインストーラフォルダが構築されます。

PlatinumとProをご購入いただいた場合(共有フォルダにインストーラをコピーした例)

	-100 C	史利口时	化里天明
BricscadPlatinumNW	🏭 BricscadPlatinumNW	2014/02/27 13:29	ファイル フォル
BricscadPlatinumNW64	BricscadPlatinumNW64	2014/02/27 13:29	ファイル フォル
BricscadProNW	BricscadProNW	2014/02/26 12:59	ファイル フォル
BricscadProNW64	BricscadProNW64	2014/02/26 12:52	ファイル フォル

(フォルダ説明)

BricscadProNW: BricsCAD Pro 32bit 用のインストーラ

BricscadProNW64: BricsCAD Pro 64bit 用のインストーラ

BricscadPlatinumNW: BricsCAD Platinum 32bit 用のインストーラ

BricscadPlatinumNW64: BricsCAD Platinum 64bit 用のインストーラ

各フォルダ以下にある setup.exe を実行するとインストールが始まります。

PlatinumとCommunicatorをご購入いただいた場合(共有フォルダにインストーラをコピーした例)

整理 ▼	ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ 書き	込む	新しいフォルダー) = •	
	▲ 🕌 共有PCフォルダ	*	名前	更新日時	種類	サイズ
	BricsCAD CommunicatorNW		BricsCAD CommunicatorNW	2016/09/23 18:12	ファイル フォル	
	BricsCAD CommunicatorNW64		BricsCAD CommunicatorNW64	2016/09/23 13:31	ファイル フォル	
	🛛 📙 BricscadPlatinumNW		BricscadPlatinumNW	2016/09/23 18:12	ファイル フォル	
	🛛 📙 BricscadPlatinumNW64		📕 BricscadPlatinumNW64	2016/09/23 13:31	ファイル フォル	

(フォルダ説明)

Bricscad CommunicatorNW: BricsCAD Communicator32bit 用のインストーラ

Bricscad CommunicatorNW64: BricsCAD Communicator64bit 用のインストーラ

BricscadPlatinumNW: BricsCAD Platinum 32bit 用のインストーラ

BricscadPlatinumNW64: BricsCAD Platinum 64bit 用のインストーラ

各フォルダ以下にある setup.exe を実行するとインストールが始まります。

(ご注意)

32bitOS に 64bit 版のインストーラを実行した場合は、BricsCAD のインストールエラーとなります。

インストール対象の PC に BricsCAD(過去バージョン含む)がインストールされている場合

初期設定ではすべての BricsCAD と BricsCAD NW をアンインストールして、現バージョンのインストールが実行されます。

過去バージョンのアンインストールの有無は setup.iniのセクションを編集することで設定変更が可能です。

BricsCAD V17 64bit をインストール対象にしているクライアントインストーラの setup.iniの例

Setup.ini - メモ帳	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
ADDLOCAL=Borrow,LicenseMonitor INSTALLUILEVEL=3 [Bricscad] InstallerPath=Bricscad¥Installer¥BricsCAD-V17.1.10-1-ja_JP(x64).msi	^
[UninstallBricscad] Version=*	
[PostInstall0] ExePath=PostInstall0¥ComplementVBA6.exe CmdLine=/quiet CheckReturn=0 [PostInstall1] ExePath=PostInstall1¥SetFlexNetTimeOut.bat [UninstallBricscad NW]	E

初期設定「version=*」:インストールされたすべての BricsCAD をアンインストールします。過去バージョンをアンインストールしたくない場合、記述を以下のように編集します。



インストール対象の BricsCAD バージョンは必ずアンインストールする必要があります。

インストール対象の PC に Communicator(過去バージョン含む)がインストールされている場合

初期設定ではすべのて Communicaotr をアンインストールして現バージョンのインストールが実行されます。

過去バージョンのアンインストールの有無は setup.iniのセクションを編集することで設定変更が可能です。



BricsCAD Communicator V17 64bit をインストール対象にしているクライアントインストーラの setup.ini の例

初期設定「version=*」:インストールされたすべての BricsCAD をアンインストールします。

過去バージョンをアンインストールしたくない場合、記述を以下のように編集します



インストール対象の BricsCAD バージョンは必ずアンインストールする必要があります。

2. BricsCAD インストールの実行

BricsCAD Platinum ネットワーク版のインストール作業例です。

1) 管理者権限(Administrator)で Windows にログインします。

使用中のアプリケーションをすべて終了させます。

- 2) クライアントインストーラのフォルダを開き(またはメディア内のフォルダを開き)、インストールする BricsCAD グレードのフォルダを開きます。
- 3) Setup.exe をダブルクリックします。

(例:BricsCADPIratinum 64bit 版用のフォルダを開いた例です)

📕 I 🖸 🛄 🖬 I			アプリケーション ツール	Bricsca	dPlatinumNW6	54	270		×
ファイル ホーム	共有	表示	管理						~ 0
← → * ↑	<mark>。</mark>	ijΡCフォルダ	 BricscadPlatinur 	mNW64 ≯	~	🖰 Bricsc	adPlatinumNW6	40検索	P
ConeDrive		^		•		00		T	
■ FC			Bricscad I	nstaller	PostInstall0	PostInstall1	Autorun.inf	Setup	o.exe
ドキュメント			Setup.ini						
📲 ビデオ 7個の項目 1個の	D項目を選	♀ 択 59.0 KE	3						EE 💌

OSによってはユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

4) メッセージが表示されます。

※BricsCADの旧バージョンがインストールされている場合、先に旧バージョンがアンインストールされます。

BricsCAE	Platinum NW
12	Windows Iこ BricsCADPlatinum NW を設定しています。しばらくお待ちくださ い。
	- キャンセル
Price CAD	
BIICSCAL) V16.2.15 (x64) ja_JP
) V16.2.15 (x64) ja_JP BricsDAD V16.2.15 (x64) ja_JP を構成しています。 しばらくお待ちください。
DIICSCAL 1 必要なf	> V16.2.15 (x64) ja_JP BriosCAD V16.2.15 (x64) ja_JP を構成しています。しばらくお待ちください。 脊板を集めています…

メッセージが消えたら、インストールの完了です。

これで、クライアント PC への BricsCAD インストール作業は終了です。

3. BricsCAD Communicator インストールの実行

BricsCAD Communicator ネットワーク版のインストール作業例です。

先に必ず BricsCAD のインストールを行ってください。

1) 管理者権限(Administrator)で Windows にログインします。

使用中のアプリケーションをすべて終了させます。

- 2) クライアントインストーラのフォルダを開き(またはメディア内のフォルダを開き)、インストールする BricsCAD グレードのフォルダを開きます。
- 3) Setup.exe をダブルクリックします。

(例:BricsCADCommunicator 64bit 版用のフォルダを開いた例です) BricsCAD CommunicatorNW64 📕 🖸 🚺 🖛 🗋 × アプリケーション ツール ファイル ホーム 共有 表示 管理 V 0 PC . ➡ ダウンロード PostInstall0 Autorun.inf Setup.ini Setup.exe 🔜 デスクトップ Fキュメント ■ ピクチャ 日 ビデオ 🎝 ミュージック 4個の項目 1個の項目を選択 59.0 KB BE 🔳

OS によってはユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

4) メッセージが表示されます。

※BricsCADの旧バージョンがインストールされている場合、先に旧バージョンがアンインストールされます。

BricsCAD Communicator V17.1.01(x64) Setup	1000		Х
BricsCAD Communicator V17.1.01(x64)			
Setup Progress			
Processing: BricsCAD Communicator V17.1.01(x64)			
		Car	cel

メッセージが消えたら、インストールの完了です。

環境によっては以下のメッセージが表示されます。その場合は再起動を行ってください。

システムの早	9,起重5		
?	インストールが完 設定を有効にす 今すぐ再起動し	了しました。 るためには、システムの再起 ますか?	目動が必要です。
		(はい(Y)	เบเวิ(N)

これで、クライアントPCへのBricsCADCommunicatorインストール作業は終了です。

3. ビージェーソフト製品のインストール

BJ-Electrical、BJ-MechaTool、BJ-MechaToolPro,などビージェーソフト製品の FlexNet オプションのインストールについて説明します。

1. インストーラについて

ご購入製品のインストールメディアをご準備ください。

2. ビージェーソフト製品のインストールの実行

以下は、BJ-Mechatoolのインストール作業の例です。

BJ-Electrical、その他のビーエーソフト製品をインストールされます場合は製品名を読み替えてくださいますようお願いいたします。

1) 管理者権限(Administrator)で Windows にログインします。

使用中のアプリケーションをすべて終了させます。

2) メディアを PC に挿入します。

セットアップウィザードへようこそダイアログが表示されます。[次へ(N)>]ボタンをクリックします。 表示されない場合は、メディア内の Setup.exe をダブルクリックして実行してください。

g BJ-Mechalool (x64)		-	4 2
BJ-MechaTool セット	・アッブ ウィザード		Soft
インストーラは BJ-MechaToo	をインストールするため	こ必要な手順を示しま	ब .
警告・このコンピュータ ブログ す。このプログラムの全部また の侵害となりますのでこ注意く	ラムは、日本国著作権法は しま一部を無断で複製した ださい。	ちよび国際条約により り、無断で複製物を頒	保護されていま 第一すると著作材

3) 使用許諾契約の確認

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。

注意深くお読みいただいた上、すべての条項に同意いただける場合は[同意する(A)]を選択し、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

BJ-MechaTool (x64)		1		×
使用許諾契約書		BJ	So	ft
使用許諾契約書をお読みくだ から[)次へ]をクリックしてくだ	さい。以下の条件に同意され さい。その他の場合は[キャ]	いる場合は[同意する ンセル]をクリックして	5]をクリック てください。	れて
ソフトウェア使用許	F諾契約			^
ビージェーソフト株式会 契約(以下「本契約」)に; ジ製品の使用権を許諾し	社(以下「当社」)はお客様 含まれるすべての条件に同 ます。	(以下「使用者」)が 意した場合に限り	pi本使用許 、本パック	諾 「一
第1条 - 契約の成立 本契約は、使 時点で成立し また、使用者	- 用者が対価を支払って本パ ます。 は弊社所定のユーザ登録手	。 ッケージ製品の引 続きを完了した後	渡しを受け 、初めて当	ナた ≦社 ❤
 同意しない(D)	○同意する(A)			
	< 戻る(B)	次へ(N) >	キャン	セル

4) ユーザー情報を入力し、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

BJ-MechaTool (x64)		<u>, 220</u>		X
ユーザー情報		BJ-	So	ft
次のボックスに名前を入力して ます。 名前(A):	ください。インストーラはこく	の情報を今後のインジ	ストールに	使用し
Windows ユーザー				
所属(_):				
			1 / 1 233	1.0310
	< 戻る(B))次へ(N) >	キャン	セル

5) インストールフォルダを選択し、【次へ(N)>】ボタンをクリックします。

インストール フォルダの選択	BJ-Sof t
ンストーラは次のフォルダへ BJ-MechaTool をインスト	ールします。
のフォルダにインストールするには[次へ]をクリックして /するには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてく)	ください。別のフォルダにインストー ださい。
フォルダ(E):	
CHProgram EileoXP I-SoftX	#87/D)
0.+110grain + nes+0.5 301(+	愛知(PV
	ディスク領域(D).
	SHR(N) ディスク領域(D).
	愛照(N) ディスク領域(D).
	愛照(N ディスク領域(D).

6) インストールの確認が表示されます。[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

BJ-MechaTool (x64)				×
インストールの確認		BJ-	So	ft
BJ-MechaTool をインストールする準備ができまし	た。			
[)次へ]をクリックしてインストールを開始してください	۱,			
			11 220	(22) () (22) ()
< 戻る(B) /大へ()	N) >	キャンセ	セル

7)「インストールが完了しました」が表示されます。インストールは完了です。

[閉じる(C)]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

😸 BJ-MechaTool (x64)	<u> 311</u>		Х
インストールが完了しました。	BJ	So	ft
BJ-MechaToolは正しくインストールされました。			
終了するには、[閉じる]をクリックしてください。			
< 戻る(B)	閉じる(C)	キャン	也心

BJ-MechaTool のインストールの完了です。

「インストールが完了しました」が表示されます。インストールは完了です。

[閉じる(C)]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

複数のベース CAD がインストールされている場合、インストールの途中で「CAD の選択」ダイアログが表示します。この場合、使用する CAD を選択して[OK]をクリックしてください。続いて表示されるメッセージも[OK]をクリックするとインストールが継続されます。

BJ-I	MechaTool をインストールしています		×	
BJ-Me 対象	記録する CAD を選択してください 一覧(L): Bricscad 15.1 Bricscad 16.2 Bricscad 17.1			CAD の選択 i BJ-MechaTool" で起動する CAD を "Bricscad ****" に設定しました。
		OK		ОК

CAD の選択のメッセージ「"Bricscad **.*"」には、選択したバージョンが表示されます。

CAD の選択は、インストール完了後は「管理ツール」-「製品フォルダ」-「ベース CAD の選択」から変更することが可能です。

4. ビージェーソフト製品ライセンス管理

ビージェーソフト製品にはスタンドアロンライセンスとネットワークライセンス(FlexNet 方式)があります。 ネットワークライセンスの設定方法について説明します。 スタンドアロン版の設定につきましては、スタンドアロン版のインストールガイドをご参照ください。

1. ライセンス形式の設定の切り替え

ライセンス形式の設定はデフォルトで、スタンドアロン(アクティベート)となっています。

この設定をネットワークライセンス(FlexNet)に切り替えます。

1) エクスプローラから「C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Alfatech¥ alfaNetworkLicenseType_v16.exe」をダブルクリックして起動します。

ライセンス設定ダイアログが表示します。

ライセンス設定	×
使用するライセンスの種類を設定してください。	
 (・ スタンドアロン(アクティベート)(R) (・ カットローカー(オン・スイミート)(R) 	
C AVED-004 COX(FlexNetX(F)	
OK キャン1	211

2)「ネットワークライセンス(FlexNet)(F)」を選択します。[OK]をクリックします。

ライセンス設定	×
使用するライセンスの種類を設定してください。	
○ スタンドアロン(アクティベート)(R)	
☞ ネットワークライセンス(FlexNet)(F)	
OK キャンセル	

3) 確認のメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

ライセンス設定	×
ネットワークライセンスの種類を "FlexNet Publisher" に設定しました。	
ОК	

2. ライセンス形式の設定

各クライアントにて、ライセンスサーバへの接続の設定を行います。

1) Windows メニューから[BJ-Soft]-[管理ツール]-[ライセンス形式の設定]を選択します。

Windows7の場合は、[スタート]から[BJ-Soft]-[管理ツール]-[ライセンス形式の設定]を選択します。



Windows8の場合は、アプリのアルファテックランチャーを起動し、[BJ-Soft]-[管理ツール]-[ライセンス形式の設定]を選択します。

アルファテック ラン チャー	アルファテック ランチャ ー × BJ-Soft ・ ・ ・
うイセンスの借用	BJ-MechaTool ユーティリティ 管理ツール BJ-MechaTool BJ-MechaTool
ライセンスの返却	
■ ライセンスモニタ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	ライセンス形式を設定します(管理者専用) 起動 終了

Windows10の場合は、スタートアイコンからすべてのアプリのB-Bj-soft - アルファテックランチャーを起動し、[BJ-Soft]-[管理ツール]-[ライセンス形式の設定]を選択します。

2) ライセンス形式の設定ダイアログが表示されます。

<u>बत</u> 51	センス形式の設定			-		×
Flext	Net Publisher(70	ーティングライセ	ンス)			
_⊏ サ	トーバー構成 ——					
(● シングル(S)	○ 分散(D)	○ 冗長	(R)		
-5	イセンスサーバー設	定				
		IPアドレスまだ	きはマシン名		ポート番号	-
.	サーバー(1)					
	サーハーの存在	をチェックする(C)			
長点	Eのエクスポート(E)		適用		終了	

ライセンスファイルの内容に合わせてライセンス形式の設定ダイアログを設定します。御社のライセンス管理状態に合わせて、サーバー構成を選択し、ライセンスサーバー設定を入力します。

ライセンスをサーバー1 台(シングル)で管理する場合の設定例

※ポート番号は、ライセンスファイルの1行目の指定「ポート番号」、または「空」にあわせてください。

1	-		×	■■ ライセンス形式の設定	-	-		>
FlexNet Publisher(フローティングラ	イセンス)			FlexNet Publisher(7[コーティングライセンス)		
サーバー構成				-サーバー構成	0 (\#b(b)	0.75(0)		
 シンクル(S) ()分散 	.D) 〇 几長(R)			• 9590KS	○ 分散(U)	○ 几長(R)		
_ ライセンスサーバー設定───				ライセンスサーバー !	没定			
IPアドレ	スまたはマシン名	- ポート番	<u>-</u>		IPアドレスまたは	マシン名	ポート番·	号
サーバー(1)			_	サーバー(1)	SERVER-PC			
ローサービー の存在す イーックオ	3(C)			□ サーバーの存れ	Ξをチェックする(C)			

ライセンスをサーバー2 台に分けて(分散)管理する場合の設定例

■■ ライセンス形式の設定	-		×	■ ライセンス形式の設定	2	-		×
FlexNet Publisher(フローティングライセンス) 「サーバー構成――				FlexNet Publisher(フ[「サーバー構成――	コーティングライセンス)			
C シングル(S) で 分散(D) C	冗長(R)			○ シングル(S)	☞ 分散(D)	〇 冗長(R)		
- ライセンスサーバー設定				- ライセンスサーバー語	没定			
IPアドレスまたはマシンペ	2	ポート番号	+		IPアドレスまたはマ	シン名	ポート番号	
マスター(1)				マスター(1)	SERVER-PC1		27100	
セカンダリー(2)				セカンダリー(2)	SERVER-PC1		27100	_
セカンダリー(3)				セカンダリー(3)				
□ サーバーの存在をチェックする(C)				□ サーバーの存れ	Ξをチェックする(C)			
設定のエクスポート(E) 適F	F	終了		設定のエクスポート(E		適用	終了	

ライセンスを冗長構成(冗長)で管理する場合の設定

100 ライセンス形式の設定 -		Х	i8.1.1	ライセンス形式の設定		_		Х
FlexNet Publisher(フローティングライセンス) - サーバー構成			F	lexNet Publisher(フロ _サーバー株式	ーティングライセンス)			
C シングル(S) C 分散(D) で 冗長(R)				C シングル(S)	○ 分散(D)	☞ 冗長(R)		
- _ ライセンスサーバー設定				ー ーライセンスサーバー誘	锭			_
IPアドレスまたはマシン名	ポート番号	+			IPアドレスまたはマ	シン名	ポート番号	-
サーバー1(1)				サーバー1(1)	SERVER-PC1		27100	
サーバー2(2)				サー/ドー2(2)	SERVER-PC2		27100	
サーバー3(3)				サーバー3(3)	SERVER-PC3		27100	
□ サーバーの存在をチェックする(C)				□ サーバーの存在	をチェックする(C)			
設定のエクスポート(E) 適用	終了			設定のエクスポート(E)		適用 [終7	

本例はサーバー名で指定した例です。

サーバー名でライセンスが取得できない場合はサーバーの IP アドレスを設定してください。

3) [適用]ボタンを押します。[終了]ボタンを押します。

5. ビージェーソフト製品の借用オプション

ビージェーソフト製品はネットワークライセンス用の FlexNet オプションとして、サーバからのライセンス借用機能を 提供しています。

1. FlexNet オプションのインストール

FlexNet オプションは、フローティングライセンス(FlexNet)のみでご使用いただけるオプションです。

オプションのインストールは必ずしも必要ではありません。オフライン時の「ライセンスの借用・返却」が必要な場合にインストールしてください。

作業はクライアント PC に管理者権限のユーザーでログオン後実行してください。

- 1) FlexNet オプションのメディアを準備します。
- 2) FlexNet Publisher オプションダイアログが表示します。[次へ(N)>]をクリックします。

自動で表示しない場合、メディア内の Setup.exe をダブルクリックしてください。



3) 仕様許諾契約書が表示されます。

注意深くお読みいただき「同意する」を選択後、[次へ]をクリックしてください。

🚽 FlexNet Publisher オプション	/ (x64)			×
使用許諾契約書		Aller	CC	G
使用許諾契約書をお読みくだ からじ次へ]をクリックしてくだる	さい。以下の条件に同意される さい。その他の場合は[キャン・	5場合は[同意する セル]をクリックして]をクリック ください。	れて
ソフトウェア使用許 アルファテック株式会社 約以下「本契約」)に含ま 製品の使用権を許諾しま	諾契約 似下「当社」はお客様似下 : れるすべての発件に同意し す。	「「使用者」)が本1 た場合に限り、本	使用許諾考 :パッケー	م ب
第1条 - 契約の成立 - 本契約は、使用 時点で成立しま また、使用者に	月者が対価を支払って本パッ ます。 よ弊社所定のユーザ登録手続	・ケージ製品の引派 さを完了した後、	痩しを受け 初めて当	「た (社 >
⑥ 同意しない(D)	○同意する(A)			
	< 戻る(B)	·汝へ(N)>	キャンt	zılı

4) インストールの確認が表示されます。[次へ]をクリックします。

掲 FlexNet Publisher オプション (x64)			1 <u>1111</u> 1		×
インストールの確認		A	to		G
FlexNet Publisher オプション をインストールす	る準備が	できました。			
[次へ]をクリックしてインストールを開始してくた	:ස්ට				
	E-5(B)			+	7112
N P	69(0)	JA: ND		- Τ Υ Ζ Ι	110

インストールが開始します。

5) インストール完了後[閉じる]をクリックします。インストーラが終了します。

闄 FlexNet Publisher オプション (x64)		8 <u>000</u>		Х
インストールが完了しました。	A	121	0	b
FlexNet Publisher オブション は正しくインストール	しされました。			
終了するには、[閉じる]をクリックしてください。				
	nerv -		De 200	1.8 2.1 II
く戻る	(B) 閉じる	5(C)	キャン	包ル

BJ 製品用のライセンスの借用・返却オプションが追加されます。

V.BricsCAD クライアントインストーラ

クライアント PC にサーバ接続情報(BricscadNW)を持つ BricsCAD をインストールするためのインストーラの作成方法について説明します。

初回(ご注文内容により)アルファテックが作成し、出荷物に同梱されている場合もあります。

BricsCAD リビジョンアップにより、クライアントインストーラ内の BricsCAD を変更される場合など、必要に応じて再作成してください。

※BJ-Electrical、BJ-MechaTool をご使用のユーザー様について

以下の場合、BricsCAD クライアントインストーラの作成作業は不要です。

・ベース CAD に AutoCAD をご使用の場合

・BJ-Electrical、BJ-MechaTool のみをネットワークライセンス、BricsCAD をスタンドアロンで

ご使用の場合

1. クライアントインストーラ

クライアントインストーラについて説明します。

1. BricsCAD クライアントインストーラとは

BricsCAD クライアントインストーラはライセンスサーバへの接続情報(BricsCADNW)を含むインストーラのことです。

ネットワークライセンスでご使用になる場合は、クライアント PC への最初のインストールは必ずクライアントインストーラを使用する必要があります。

クライアントインストーラには以下のものが含まれます。

- BricsCAD
- ・サーバ接続情報(AlfatehBricsCAD(グレード)NW(**) V**)^{※1}
- ・ライセンスモニタ*2
- ・ライセンス借用オプション*2
- ※1 グレード部分は、インストールされた BricsCAD のグレードと同じ名称となります。

BricsCAD Classic V17 64bit 版をインストールした場合

AlfatehBricsCAD(Classic)NW(x64) 2017 がインストールされます。

※2 インストーラを作成途中ダイアログで任意インストーラに含めるかを指定できます。 使用ライセンスをクライアントユーザに公開したくない場合や借用を許可しない PC がある場合などに チェックをオフにしてください。

2. クライアントインストーラの作成準備

- 1) クライアント用インストーラのフォルダ作成
- インストーラ用のフォルダを作成します。
- 共有サーバー上に作成する場合は、作成フォルダを共有設定してください。
- 作成時は、クライアント用インストーラの共有フォルダのアクセス許可はフルコントロールにしてください。
- 例:ファイルサーバーの共有フォルダ先にクライアント用インストーラのフォルダを作成

¥¥serverPC¥Software¥BricsCADNW

例:ローカル PC 上にクライアント用インストーラのフォルダを作成

 $C: \cite{V} Users \cite{V} Public \cite{V} Brics CADNWInstaller$

- 2) ライセンスファイルの確認
- ライセンスファイルはアルファテックから発行されております。ライセンス情報ファイル(*.lic)をご準備ください。
- 3) BricsCAD インストーラの準備

クライアントにイストールする BricsCAD のインストーラを任意の場所にコピーします。

お手元に無い場合は、Bricsys サイト(http://www.bricsys.com/ja_JP)よりダウンロードしてください。

BricsCAD インストーラ名例

BricsCAD-V17.1.10-1-ja_JP(x86).msi

BricsCAD-V17.1.10-1-ja_JP(x64).msi

4) BricsCAD プロファイル Default 用の初期設定の準備(必ずしも必要ではありません)

「2. プロファイル初期設定ファイル」をご参考の上、必要に応じて作成してください。作成されます場合は、 32bit 用、64bit 用をご準備ください。

3. クライアントインストーラの作成

クライアント用 BricsCAD NW インストーラの作成方法について説明します。

一連の作業は Administrator または管理者権限を持つユーザーでログインして行ってください。

1) ライセンス管理(FlexNet)サービス のメディアをメディアドライブにセットします。

自動的にインストーラが起動し、[Bricscad NW セットアップ] ダイアログを表示します。

[Bricscad NW セットアップ] ダイアログが自動的に起動しない場合は、エクスプローラ等でメディア内にある BricscadNWSetup.exe をダブルクリックして起動してください。

2) 「Bricscad NW クライアントインストーラの作成」ボタンをクリックします。

BricsCAD NW セットアップ	Х
アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインストール	
BricsCAD NW クライアントインストーラの作成	

3) BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザードが表示します。

[次へ(N)]ボタンをクリックします。

BricsCAD NW クライアントインスト	ーラ作成ウイザード	×
	BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザードへようこそ	-
	このウィザードを使えば、BricsCAD NW クライアントインストーラを 簡単に作成することができます。	
	統行するには、 * 〉次へ * をクリックして ください。	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

4) ライセンスサーバ設定画面が表示します。[追加(A)]ボタンをクリックします。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード	×
ライセンスサーバー設定	
クライアントが参照するライセンスサーバーを設定してください。 複数のサーバーがある場合、一覧の上から順に参照します。 サーバー一覧(1): 詳細:	
設定文字列:	
1 ライセンスの借用を許可する(S)	
☑ ライセンスモニタをインストールする(M)	
□接続タイムアウト時間を設定する(T) 1 (秒)	
< 戻ろ(B) 次へ(N) > キャンセル	,

[ダイアログボタン説明]

追加:ライセンスファイルを選択します。

削除:左側のサーバー一覧から選択したサーバ情報を削除します。

上へ/下へ:分散構成など、複数サーバを設定する場合使用します。

選択したサーバー名を上、または下に移動します。

5) FlexNet Publisher ライセンスファイルの選択が表示します。

ライセンスファイルを選択し、[開く(O)]をクリックします。



※分散構成の場合、[追加(A)]ボタンを押してすべてのライセンスファイルを登録してください。

冗長構成のライセンスファイルを追加した例

サーバー一覧(L):		言羊糸田 :						
@SERVER-PC1,@SERVER-PC2,@SERVER-F	追加(A)	サーバー名	ポート番号					
	削除(E)	SERVER-PC1						
	上へ(U)	SERVER-PO2 SERVER-PO3						
	下へ(D)							
設定文字列: @SERVER-PC1,@SERVER-PC2,@SERVER-PC3								

分散構成として、ライセンスファイルを2つ追加した例

サーバー 一覧(L) :		言羊糸田 :		
@SERVER-PC1 @SERVER-PC2	追加(A)…	サーバー名	ポート番号	
	削除(E)	SERVER-PC2		
	上へ(U)			
	下へ(D)			
。 設定文字列: @SERVER-PC1;@SERVER-F	PC2			

6) ライセンスサーバー設定ダイアログにて、オプションを選択し[次へ]をクリックします。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード				×
ライセンスサーバー設定				
クライアントが参照するライセンスサーバーを設定し 複数のサーバーがある場合、一覧の上から順にき	ってください。 参照します。			
サーバー 一覧(L):		言羊糸田 :		
@SERVER-PC	追加(A)	サーバー名	ポート番号	
	肖J『赤(E)	SERVER-PC		
	王·(0)			
	FA(D)			
設定文字列: @SERVER-PC				
────────────────────────────────────				
ー ✓ ライセンスモニタをインストールする(M)				
□ 接続タイムアウト時間を設定する(T) 1	(秒)			
	<	ēる(B) 次へ	(N) >	キャンセル

[オプション]

ライセンスの借用を許可する デフォルト:チェック有り

クライアント PC にライセンス借用を許可する場合チェックを入力してください。

クライアント PC をオフラインで使用する可能性がある場合、チェックを入力してください。

ライセンスモニタをインストールする デフォルト:チェック有り

クライアントから現在のライセンス使用状況を確認したい場合はチェックを入力してください。

ライセンスの借用/ライセンスモニタの詳細につきましては、付録の章をご参考ください。

接続タイムアウト時間を設定する[]秒 デフォルト:チェック無し

サーバとクライアント間で接続プロセスに時間を要しタイムアウトエラーが発生する場合に、「FLEXLM_TIMEOUT」 変数を使用して、タイムアウト時間を指定することができます。

ライセンスファイルにポート番号が指定されていない場合、またはポート番号 27000~27009 の間が指定されている 場合にのみ有効となります。 7) BricsCAD のインストーラを選択します。右側の参照アイコンをクリックし、インストーラを選択します。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード		×
BricsCADインストーラの選択		
BricsCAD のインストーラを指定してください。		
インストーラ(1):		
□ Communicator のインストーラも作成		
	<戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

※32bit 版、64bit 版は個別に作成する必要があります。作成する BricsCAD のインストーラを選択してください。

選択例 BricsCAD 32bit 版のインストーラを選択した例

BricsCAD のインストーラを指定してください。

インストーラ(1): C¥Users¥Public¥Downloads¥BricsCAD-V17.1.10-1-ja_JP(x86).msi

...

選択例 BricsCAD 64bit 版のインストーラを選択した例

BricsCAD のインストーラを指定してください。	
インストーラ(1): C¥Users¥Public¥Downloads¥BricsCAD-V17.1.10-1-ja_JP(x64).msi	

BricsCAD Communicator をご購入されている場合、Communicator のインストーラも作成します。 「Communicator のインストーラも作成」にチェックを入力します。

✓ Communicator のインストーラも作成

右側の参照アイコンをクリックして、BricsCAD Communicator のインストーラを選択します。

✓ Communicator のインストーラも作成

C:¥Users¥Public¥Downloads¥BricsCAD-Communicator-V17.1.01-1(x64).ex

Communicaotr のインストーラと BricsCAD のインストーラは必ず、バージョン、bit 数を一致させてください。 BricsCAD のインストーラを指定してください。 インストーラ(I): C+Users+Public+Downloads+BricsCAI-V17.1.1)-1-ja_J((x64).msji ... C+Users+Public+Downloads+BricsCAD-Communicator-V17.101(1(x64).e) ...

バージョン、bit 数の何れかが一致していない場合、[次へ]ボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されます。

	estratues escavel de l'avendes alle l'al	
BricsCADインスト-	ラの選択	G
BricsCAD のイン	ストーラを指定してください。	
インストーラ(1):	C#Users#Public#Downloads#BricsCAD=V17.1.10=1=ja_JP(x64).msi	
🗹 Communicato	r のインストーラも作成	_
	C×Users¥Public¥Downloads¥BricsCAD-Communicator-V17.1.01-1(x86).ex BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード	×
	C:¥Users¥Public¥Downloads¥BricsCAD-Communicator-V17.1.01-1(x86).ex	×

[OK]をクリックして、適切なインストーラを選択しなおしてください。

8) [次へ(N)]をクリックします。

9) 作成するインストーラの BricsCAD グレードを指定します。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード		×
BricsCAD のグレード設定		
BricsCAD のグレードを指定してください。 □ Classic(C) □ Pro(P) □ Platinum(I)		
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャン	ッセル

ご購入の BricsCAD グレードにあわせて、チェックを入力してください。

例)BricsCAD ProとPlainum をご購入いただいた場合の例

Classic(C)	
📝 Pro(P)	
🔽 Platinum(I)	

10)[次へ(N)]をクリックします。

11)クライアントで BricsCAD のインストール先を変更される場合はご指定ください。

通常はデフォルトのまま作成してください。[次へ]をクリックします。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザ	-ř			×
インストール プロパティの設定				
必要があれば、インストールプロパティを指定	?してください。			
□ インストール先を指定する(D):				
		< 戻る(B)	次へ(N) >	キャンセル

12)BricsCAD 初期設定が表示されます。

[次へ]をクリックします。

過去バージョンなどでカスタマイズされたファイルなど、引き継ぎたい設定ファイルがございましたら、引き継ぎたい項目の[...]をクリックして保存元フォルダパスを選択してください。(※必須ではありません。)

BricsCAD NW クライアント・	インストーラ作成ウィザード	×
BricsCAD 初期設定		
インストール時(こコピー そのファイルが含まれる	するファイルがあれば、 フォルダを指定してください。	
線種(L):		
フォント(F) :		
: (M) :		
Lisp(1) :		
印刷設定(P):		
印刷スタイル(S):		
テンプレート(E):		
	< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

(初期設定について)

※引き継ぎたい設定のパスだけを指定してください。すべてを指定する必要はありません。

※BricsCAD 初期設定で使用される場合(指定しない場合)は、空のままにしてください。

指定されたパスにあるファイルはクライアントインストーラに含められます。

クライアントインストーラでインストール実行時に、ファイルはインストール先にコピーされます。

BricsCAD 初期	朝設定コピー先	
各項目のコピー先 : C:¥Program Files¥Bricsys¥BricsCAD V17(BricsCAD のインストール先例)		
ログオンユーザ・	一先例	
C:¥User¥ユー	ザー名¥AppData¥Roaming¥Bricsys¥BricsCAD¥V17¥ ja_JP¥	
線種	インストール先以下¥UserDataCache¥Support¥ja_JP	
	および ログオンユーザーごとの BricsCAD の support フォルダ	
フォント	インストール先¥Fonts	
メニュー	インストール先¥UserDataCache¥Support¥ja_JP	
および ログオンユーザーごとの BricsCAD の support フォルダ		
Lisp	Lisp インストール先¥Support	
印刷設定	インストール先¥UserDataCache¥PlotConfig	
	および ログオンユーザーごとの BricsCAD の PlotConfig フォルダ	
印刷 インストール先¥UserDataCache¥PlotStyles		
スタイル および ログオンユーザーごとの Bricscad の PlotStyles フォルダ		
テンプレート	テンプレート インストール先¥UserDataCache¥Templates¥ja_JP	
	および ログオンユーザーごとの BricsCAD の Templates フォルダ	

13) プロファイルの初期設定が表示されます。「2. プロファイル初期設定ファイル」(p63) で作成されたファイル がありましたら[...]をクリックして保存先パスを指定してください。

BricsCAD のインストーラの指定で 32bit 用のインストーラを選択された場合は、32bit 用の環境ファイルを選択してください。

BricsCAD のインストーラの指定で 64bit 用のインストーラを選択された場合は、64bit 用の環境ファイルを選択してください。

指定されない場合は空のままにしてください。 [次へ(N)]をクリックします。

BricsCAD NW クライアン	ノトインストーラ作成ウィザード			×
プロファイルの初期設	定			
プロファイルの初期間 設定ツールと brg フ	没定を行う場合は、 ファイルのパスを指定してください。			
 設定ツール (T):				
brg ファイル(G) :				
		< 戻る(B)	次へ(N) >	キャンセル

BricsCAD の設定ツールとbrgファイルに各フォルダを設定します。(※必須ではありません。)

14)出力先フォルダの設定が表示されます。

出力先フォルダ右側の[...]をクリックして、クライアントインストーラの出力先フォルダを指定します。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード	×
出力先フォルダの設定	
インストーラの出力先フォルダを指定して、次へ、を押してくださ インストーラの作成を開始します。	56.70
出力先フォルダ (0):]
	2 百万(0) 2万(AD 5 大い)(月).
	< KO(D) X((N) > ++7/2)/

15)[次へ(N)]をクリックします。

BricsCAD NW クライアントイ	ンストーラ作成ウィザード	×
出力先フォルダの設定		
インストーラの出力先フ; インストーラの作成を開	ォルダを指定して")次へ"を押してください。 始します。	
出力先フォルダ (0):	C¥Users¥Public¥BricsCADNWInstaller	
	< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

インストーラの作成が始まります。

16)完了が表示されます。[完了]をクリックします。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作系	えウィザード	×
	完了 インストーラの作成が完了しました。	
	< 戻る(B) 完了 キャンセル	

※32bit 版、64bit 版のインストーラを作成される場合、同様の手順で個別に作成してください。

4. クライアントインストーラの確認



BricsCAD インストーラのフォルダ名は"Bricscad{グレード}NW{64(64bit 版のみ)}"となります。

Communicator インストーラのフォルダ名は"BricsCADCommunicatorNW{64(64bit 版のみ)}"となります。

1 つの PC に複数のグレードの BricsCAD をインストールすることはできません。

ローカル PC 上に作成する場合は、作成後共有場所に移動、またはメディアなどに焼いて他クライアントにてイン ストールが可能な状態にしてください。

2. プロファイル初期設定ファイル

Bricscad の初期値を設定するファイルの書き出し作業について説明します。

1. プロファイル初期設定ファイルについて

プロファイル初期設定ファイルとは、BricsCADを始めて起動するときに自動作成されるプロファイル(default) に予め自社専用の設定を組み込むものです。

例)BricsCAD 起動時の画面

白 -> 黒に変更しておくなど



2. プロファイル初期設定ファイルの作成

1) アルファテックライセンス管理(FlexNet)サービスメディアの MISC フォルダ内の BInitOut.exe を実行します。



※BricsCADを複数インストールしている環境で実行した場合、BricsCADの選択肢が表示されます。

対象バージョンの選択 ×	対象バージョンの選択 ×
対象とする Bricscad のバージョンを選択してください。	対象とする Bricscad のバージョンを選択してください。
バージョン(V): V16.2 (x64) ~ OK キャンセル	バージョン(V): V16.2 (x64) マ V16.2 (x64) V15.3 (x64) OK キャンセル

その場合は環境を登録するバージョンを選択して、[OK]をクリックします。

2) ダイアログ内の設定項目を設定します。[書き出し]をクリックします。

(設定例)

Bricscad プロファイル初期設定書き出しツール ×	Bricscad プロファイル初期設定書き出しツール ×
スナップ/グリッド グリッドスタイル: 0×0000(0) □ 2Dモデル空間の点グリッド(チェックオフのときは格子グリッド) 主グリッドの色: □ 253 ~ (背景色が黒のとき 251、白のとき 253 を推奨) 副グリッドの色: □ 254 ~ (背景色が黒のとき 250、白のとき 254 を推奨)	スナップ/グリッド グリッドスタイル: 0x0000 (0) 2Dモデル空間の点グリッド (チェックオフのとき(は格子グリッド) 主グリッドの色: 251 副グリッドの色: 250 (皆景色が黒のとき 250、白のとき 254 を推奨)
表示 皆景色: 里 X軸の色: 11 Y軸の色: 112 Z軸の色: 150 クロスへアーサイズ: 3 グロンプトメニュー: 画面右上にプロンプトメニューを表示	表示 皆景色: ■黒 ~ ×軸の色: ■赤 ~ ×軸の色: ■春 ~ Z軸の色: ■春 ~ クロスへアーサイズ: ⑧ (フルスクリーンサイズは 100) プロンプトメニュー: 画面右上にプロンプトメニューを表示 ~
間√/保存 保存形式: DWG 2013 自動保存の時間間隔: 60 (分) □閉じるときは、DBMODの最初のビット以外は無視 (チェックオン: 図面を開いてズームしただけで閉じたときは保存するかどうかを確認しない)	間、パ保存 保存形式: DWG 2010 ~ 自動(保存の時間間隔: 10 (分) 一閉じるときは、DBMODの最初のビット以外は無視 (チェックオン: 図面を開いてズームしただけで閉じたときは(保存するかどうかを確認しない)
操作法の設定 ラスター ブレビュー : 「 ブリレビュー イメージを作成 (通常はチェックオン) ショートカットメニュー : ①ショートカットメニューのデフォルトモードを有効 (通常はチェックオン) ⑦ショートカットメニューの編集モードを有効 (通常はチェックオン)	操作法の設定 ラスター ブレビュー : □ブレビュー イメージを作成 (通常はチェックオン) ショートカットメニュー : □x0012(18) □ ショートカットメニューのデフォルトモードを有効 (通常はチェックオン) □ ショートカットメニューの編集モードを有効 (通常はチェックオン)
書き出しキャンセル	書き出し キャンセル

3) 保存するフォルダを指定し、[OK]をクリックします。



4) メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

Bricscad プロファイル初期設定書き出しツール	×
プロファイルの初期設定を行うツール(BInit.exe)と 設定ファイル(BInit.brg)を 指定されたフォルダに作成しました。	
ОК	
5) Bricscad プロファイル初期設定書き出しツールダイアログの[キャンセル]をクリックします。 ダイアログが終了します。

3. 設定ファイル

指定したフォルダに下記の2つのファイルが書き出されます。

BInit.brg (設定内容のファイル)

BInit.exe (書き出した設定内容を登録するためのプログラム)

📓 💟 📙 🖛 אנאב אין	8		11	×
ファイル ホーム 共有	表示			~ ()
← → ~ ↑ 🖹 > PC	> ドキュメント		▶ ひ ドキュメントの検索	Q
オ クイック アクセス ■ デスクトップ ↓ ダウンロード	*			^
איעצב+א 📔	A	Blait bra	Bloit eve	
 ビクチャ 5 個の項目 1 個の項目を追 	ᢞ ✔ Щ択 1.21 KB	onnabig	Difficer	

設定ファイルにはレジストリに登録する値が書き出されます。

(BricsCAD V17 64bitインストール環境でデフォルトのまま書き出した場合の設定ファイル)

■ Blnit.brg - メモ帳	-		×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)			
Windows Registry Editor Version 5.00			^
[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Bricsys¥Bricscad¥V17x64¥ja_JP¥Profiles¥d	efault]		
[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Bricsys¥Bricscad¥V17x64¥ja_JP¥Profiles¥d	efault¥	Config]	
"GRIDSTYLE"=dword:00000000			
"GRIDMAJORCOLOR = dword:0000001d			
"BKGCOLOR"=dword:00000007			
"COLORX"=dword:00000001			
"COLORY"=dword:00000003			
"COLORZ"=dword:00000005			
"CURSORSIZE"=dword:00000003			
"PROMPTMENU"=dword:00000003			
"SaveFormat"=dword:00000001			
"SAVETIME"=dword:0000003c			
"CloseChecksOnlyFirstBitDBMOD"=dword:00000000			
"RASTERPREVIEW"=dword:00000001			
"SHORTCUTMENU"=dword:0000002			~
4			>

(前頁の(設定例)のように設定項目を変更して書き出した場合の設定ファイル)

🥘 Blnit.brg - 乂モ帳	-		×	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)				
Windows Registry Editor Version 5.00				0
[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Bricsys¥Bricscad¥V17x64¥ja_JP¥Profiles¥defa	ault]			
[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Bricsys¥Bricscad¥V17x64¥ja_JP¥Profiles¥defa "GRIDSTYLE"=dword:0000000 "GRIDMAJORCOLOR"=dword:00000fb "GRIDMINORCOLOR"=dword:00000fa "BKGCOLOR"=dword:0000001 "COLORX"=dword:0000003 "COLORX"=dword:0000003 "COLORX"=dword:00000003 "COLORXIE"=dword:00000003 "SaveFormat"=dword:00000003 "SaveFormat"=dword:00000004 "SAVETIME"=dword:00000004 "CASCEChecksOnlyFirstBitDBMOD"=dword:0000000 "SAVETIME"=dword:00000001 "SHORTCUTMENU"=dword:00000001	ault¥C	Config]		0
3			×	.1

BricsCAD V17 64bit 以外のクライアントインストーラで流用する場合は、以下の場所をインストールする BricsCAD に合わせて変更してください。

[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Bricsys¥Bricscad¥V**¥**_**¥Profiles¥default]

[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Bricsys¥Bricscad¥V**¥**_**¥Profiles¥default¥Config]

¥V**¥**_**¥ 部分の変更例

32bt 用 日本語版の例 ¥V17¥ja_JP¥

32bt 用 英語版の例 ¥V17¥en_US¥、64bt 用 英語版の例 ¥V17x64¥en_US¥

書き出したファイルは、クライアントインストーラの作成にて使用します。クライアントインストーラを作成する端末でアクセスできる場所に保存してください。

(補足)

クライアントインストーラでインストールを実施したログオンユーザーの BricsCAD プロファイルとして反映されます。

他のユーザーに反映させる場合は、ログオンユーザーを変更し、¥MISC 内の BlnitOut.exe を実行してください。

VI.オプション

ネットワーク(FelxNet)用のオプションである「ライセンスの借用」と「ライセンスモニタ機能」について説明します。

1. オプションの種類

ネットワーク(FlexNet)用のオプションとしてライセンスの借用機能を使用することができます。

1. ライセンスの借用

ライセンス借用は、クライアントマシンがサーバーからネットワークライセンスを借用する機能です。

借用を実行すると、サーバーから使用可能なネットワークライセンス数が1つ減ります。

クライアントマシンでは、借用期間(最長 180 日間)使用することができます。借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアントマシンから削除され、サーバーのライセンス数は1 つ増えます(借用を行う前のライセンス数 に戻ります)。

※ライセンスの借用/返却は同一のログオンユーザーで行う必要があります。

※ライセンス借用中に借用処理を行ったアカウント名の変更はしないでください。

アカウント名を変更された場合借用期限が切れるまでライセンスの返却ができなくなります。

2. ライセンスモニタ

購入ライセンスの種類と総数、および、使用中のライセンス数などを確認することができます。

BricsCAD 専用とビージェーソフト製品では、それぞれに専用のライセンスモニタがあります。使用方法は同じです。

3. オプションメニューについて

BricsCADとBJ製品ではオプションメニューが違います。それぞれに独立しています。 共通ではありませんのでご注意ください。

BricsCAD 専用のライセンスモニタ起動メニュー



ビージェーソフト製品専用(FlexNet Publisher オプションとしてインストール)のメニュー



2. ライセンスの借用と返却(BricsCAD)

BricsCAD の借用オプションについて説明します。

1. BricsCAD ライセンスの借用

1) [ライセンスの借用] を選択します。

Windows7の例:[スタート]- [すべてのプログラム]-[Alfatech]-[Bricscad NW]-[ライセンスの借用]



Windows8.1 の例: [スタート]- [アプリ]-[Alfatech]-[ライセンスの借用]

Windows10の例: [スタート]- [すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech]-[ライセンスの借用]



2) ライセンスの貸し出し申請ダイアログが表示されます。期限日をクリックし、[申請]をクリックします。

(水木金土)日月火水木金			Loto-+ i	8 *
15 16	月火水木金土	8 8	日月火水	木金土
	15 16	5		[15] 16
9 20 21 22 23 5 27 28 29 30 24 25 26 27 28 29	18 19 20 21 22 23 25 26 27 28 29 30	\$	7 18 19 20	21 22 23
2 3 4 5 6 ≥ 2 3 4 5 6 ≥ 2 3 1 1 2 3 4 ⇒ 1 2 0 1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 □ 今日·2016/01/15		4 25 20 27 11 1 2 3 □ 会日・201	4 5 6

3) 借用が許可されると、申請が受領されたメッセージダイアログが表示します。[閉じる]をクリックします。



※借用が許可されなかった場合、[詳細]ボタンをクリックし、状況をご確認ください。

借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアントマシンから削除され、サーバーのライセンス数は1つ増 えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。任意に返却処理を行う必要はありません。

2. BricsCAD ライセンスの借用期限の確認

借用したライセンスの借用期限について確認する方法を説明します。

1) [ライセンスの借用] をクリックします。

Windows7 の例:[スタート]- [すべてのプログラム]-[Alfatech]-[Bricscad NW]-[ライセンスの借用]
 Windows8.1 の例:[スタート]- [アプリ]-[Alfatech]-[ライセンスの借用]
 Windows10 の例:[スタート]- [すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech]-[ライセンスの借用]

2) 借用中のライセンスダイアログが表示されます。確認後[閉じる]をクリックして終了します。

•	🔓 BricscadNW - 借用	中のライセンス		×
:	現在借用中のライセンス	Rは以下の期間で有	対です。	
	製品 Bricscad Platinum	返却 期限 2016/01/22	7残日数 8	
				閉じる

3. BricsCAD ライセンスの返却

借用したライセンスを借用期限前にサーバーに返却する手順を説明します。 借用期間満了まで使用する場合は、返却処理は必要ありません。

- 1) ライセンスを借用したライセンスサーバーが存在するネットワークに接続します。
- 2) [ライセンスの返却] を選択します。

Windows7の例:[スタート]- [すべてのプログラム]-[Alfatech]-[Bricscad NW]-[ライセンスの借用]



Windows8.1 の例: [スタート]- [アプリ]-[Alfatech]-[ライセンスの借用]

Windows10の例: [スタート]- [すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech]-[ライセンスの借用]



3) ライセンスの返却ダイアログが表示されます。[返却]をクリックします。

💺 BricscadNW - ライセ	2ンスの返却)
以下のライセンスが借用 「返却」を押すとサーバー (期限切れのライセンス(中です。 -にライセンスが返却 よ破棄されます)	されます。	
製品 Bricscad Platinum	返却 期服 2016/01/22	残 日数 8	
		返却	キャンセル

4) ライセンスが返却されます。[閉じる]をクリックします。

	country		
	借用していたライセン。	スを返却しました。	
•			
		5¥6m/rs	BIL: 7 (0)

(補足)

ライセンスを返却するサーバーが見つからない場合は、以下のエラーメッセージを表示します。 サーバー接続状況を確認してください。その後、返却手順を再実行してください。



※BricsCAD オプション製品の借用について

BricsCAD のオプション製品をご購入の場合、借用ダイアログは下記のように「オプション製品」欄が表示されます。BricsCAD と同時に借用するオプションにチェックを入力して[申請]を行なってください。

NW - ライセンスの貸し出し申請 × 反和期限を指定してください。	BricscadNW - ライセンスの貸し出し申請 ライセンスの返却期限を指定してください。
100 077 12 & COMBERT 100 ETEL	(今日から2016/07/12までの嵌入180日間)
◀ 2016年1月 ▶	◀ 2016年1月 ▶
日月火水木金土	日月火水木金土
17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6	17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 → ⊕ Ξ: 2016/01/15
製品 Bricscad Platinum フィーチャ BCADNW_PT オプション製品	製品 Bricscad Platinum フィーチャ BCADNW_PT オブション製品
製品 フィーチャ Communicator Sheet Metal	製品 フィーチャ Communicator Sheet Metal
	WV - ライセンスの貸し出し申請 × 歴却期限を指定して(だとい。 15/07/12までの最大 18/0 日間) 日 月 火 水 木 金 土 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 今日: 2016/01/15 W品 Bricscad Platinum アィーチャ BCADNW_PT ガンョン製品 型品 フィーチャ □ Communicator Sheet Metal

「オプション製品」欄はオプションライセンスをご購入されていない場合、オプション製品のライセンスファイルを使用されていない場合は表示されません。

オプション製品のみの借用はできません。

3. ライセンスの借用と返却(BJ 製品)

BJ 製品(BJ-Electrical、BJ-MechaTool)の借用オプションについて説明します。 ライセンスの借用と返却は同じメニューから行います。

1. BJ 製品ライセンスの借用

1) [ライセンスの借用・返却] を選択します。

Windows7の例: [スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンスの借用・返却]



Windows8.1の例: [スタート]- [アプリ]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]

Windows10の例:[スタート]-[すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー] 「アルファテックランチャー」起動 -> 「Alfatech」-「管理ツール」の「ライセンスの借用・返却」

	Alfatech	~					
3	アルファテック ランチャー ≦新規						
	うイセンスの借用		🎘 アルファテック ランチャ		_		×
	ライセンスの返却		Alfatech				_
	ライセンスモニタ		管理ツール BJ-Soft	21センスの1音用・返却			
В			BJ-MechaTool ユーティリティ 符種ツール				
←ı	更る		BJ-MechaTool				
Ħ	WebとWindowsを検	索	FlexNet Publisher のライセンスサー 借用・返却します。	バーから、ライセンスを 起動		終了	

2) FlexNet Publisher ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。借用する製品名にチェックを入力し、借用期間で、期日を指定、または日数を指定のいづれかを選択します。

🖼 ライセンスの借用・返却 – 🗆 X	③ ライセンスの借用・返却 – □ ×
■ ライセンスの借用・返却 – ○ X ○ 信用(B) ライセンスの種類(L) 製品名 説明 □ BJ-M BJ-MechaTool	図 ライセンスの信用・返却 - ○ × で 信用(B) ライセンスの種類(L) 製品名 説明 図 BJ-M BJ-MechaTool
信用期間 ○期日を指定(A) 2016/01/15 - ※最長180日 ○日数を指定(D) 1	信用期間 ○ 期日を指定(A) 2018/01/22 ▼ ※最長180日 ○ 日数を指定(D) 【 2016年1月 ▶
 ご おれ(れ) 現在信用中のライセンスをすべて返却 (ご 通邦(P) 日月人火水水金 現在信用中のライセンスをすべて返却 3 4 5 5 7 8 9 11 11 21 31 4 20 14 40 15 22 29 30 31 1 2 3 4 5 5 7 8 9 10 11 12 13 14 20 14 40 15 11 1 12 13 14 20 14 40 15 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 29 30 31 1 2 3 4 5 6 20 3 9 31 1 2 3 4 5 6 20 3 9 31 1 2 3 4 5 6
OK キャンセル	OK キャンセル

- 3) [OK]をクリックします。
- 4) 確認のメッセージが表示されます。[はい]をクリックします。



5) 借用が成功すると、成功しましたメッセージダイアログが表示します。[OK]をクリックします。



6) ライセンスの借用・返却ダイアログの内容を確認し、[キャンセル]をクリックし終了します。

借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアントマシンから削除され、サーバーのライセンス数は1つ増 えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。

任意に返却処理を行う必要はありません。

2. BJ 製品ライセンスの借用期限の確認と返却

1) [ライセンスの借用・返却] を選択します。

Windows7 の例: [スタート]- [すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンスの借用・返却] Windows8.1 の例: [スタート]- [アプリ]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]

Windows10の例: [スタート]-[すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]

「アルファテックランチャー」起動 ->「Alfatech」-「管理ツール」の「ライセンスの借用・返却」

ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。ダイアログ下部の"返却"項目にて借用期間を確認すること ができます。

2200-0		
▼ BJ-M	BJ-MechaTool	
借用期間	☞ 期日支指定(A) 2016/01/22 ▼	
※最長180日	C 日数を指定(D) 8	
▼ 波邦(R) 現在(集田中の=	- ノムマ・フ センナ パップショナロ	_
жи±талт中005 BJ-M 2016-01	イロンズをすく しぬます - 15 -> 2016-01-22 (9髪り8日)	 ^

2) 確認のみの場合 [キャンセル]をクリックし終了します。

返却する場合、[OK]をクリックします。

3) メッセージが表示されます。[はい]をクリックします。



4) メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



5) ライセンスの借用・返却ダイアログは[キャンセル]をクリックして終了します。

借用期間満了まで使用する場合は、返却処理は必要ありません。

4. ライセンスモニタ(BricsCAD)

クライアントからライセンスの使数、ライセンス使用中ユーザを確認することができます。BricsCAD のライセンスモニタについて説明しています。

1. ライセンス情報の確認

1) [ライセンスモニタ] を選択します。

Windows7の例: [スタート]- [すべてのプログラム]-[Alfatech]-[Bricscad NW]-[ライセンスモニタ]



Windows8.1 の例: [スタート]- [アプリ]-[Alfatech]-[ライセンスモニタ]

Windows10の例: [スタート]-[すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech]-[ライセンスモニタ]



ライセンスモニタダイアログが表示します。

 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			 6	×
アプリケーション名	パージョン	ライセンス数	使用数	
BricscadClassic NW	17.0	3	0	
BricscadPro NW	17.0	3	0	
BricscadPlatinum NW	17.0	3	0	
Communicator	17.0	3	0	
Sheet Metal	17.0	3	0	
ライセンスサーバ:@Server	最終更新時刻:201	6/12/12 17:05:17		

サーバーと通信が正常に行われている場合、ライセンスサーバーの状態が表示されます。

お客様の環境や購入ライセンス数によって、「アプリケーション名」、「バージョン」、「ライセンス数」、「ライセンス サーバ」などの表示情報は異なります。 (借用中のライセンス表示について)

「ライセンスの借用」が行われている場合、使用数の欄には借用分のライセンスを常にカウントした値が表示されます。

ただし、借用したライセンスかどうかの区別はつきません。クライアント情報から使用端末の確認を行ってください。

(ライセンスサーバの表示について)

複数のライセンスサーバーを登録したクライアントインストーラでインストールした場合、登録したサーバー名称 をすべて表示します。

また、分散サーバー構成の場合、「アプリケーション名」、および「ライセンス数」の欄には、各ライセンスサーバーに登録されているライセンスの総数を表示します。

2. クライアント情報の確認

「使用数」が1以上のアプリケーション名に対して、「クライアント情報を表示」でライセンスを使用している端末 情報を確認することができます。

1) 製品を選択し、「クライアント情報表示」アイコンをクリックします。

アプリケー クライアント情報を表示	パージョン	ライセンス数	使用数		
BricscadClassic NW	17.0	3	0		
BricscadPro NW	17.0	3	0		
BricscadPlatinum NW	17.0	3	2		
Communicator	17.0	3	0		
Sheet Metal	17.0	3	1		

2) クライアント情報が表示されます。確認後[OK]をクリックします。

プリケーション名		バージョン	ライセンス数	使用数		
BricscadClassic NW		17.0	3	0		
BricscadPro NW		17.0	3	0		
BricscadPlatinum NV	N	17.0	3	2		
Commission		17.0	<u> </u>	0		
フライアント情報			્ય	× 1		
アプリケーションを利用し	ている端末の一覧	覧(L):				
端末	ユーザ名	最初にライセンス	を要求した時刻			
DESKTO2P-GCUD	admin	2016/12/12 18	06:37			
DESKTOP-GOUD5	admin	2016/12/12 18	06:37	-		
				-		_
DESKTO2P-GCUD DESKTOP-GCUD5	admin admin	2016/12/12 18 2016/12/12 18	06:37 06:37			_

表示される情報は、「端末名」、「使用ユーザー名」、「ライセンスを要求した時刻」です。

5. BJ 製品ライセンスモニタ

購入ライセンスの種類と総数、使用中のライセンス数、ライセンス使用中ユーザなどを確認することができます。 BJ 製品のライセンスモニタについて説明します。

1. ライセンス情報の確認

ライセンスモニタを起動します。

1) [ライセンスモニタ]を選択します。

Windows7の例:[スタート]- [すべてのプログラム]-[BJ-Soft]-[ユーティリティ]-[ライセンスモニタ] Windows8.1の例:[スタート]- [アプリ]-[BJ-Soft]-[アルファテックランチャー]

Windows10の例: [スタート]- [すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]

BJ-Soft-ユーティリティ「ライセンスモニタ」

🎦 アルファテック ランチャ		—		×
Alfatech 管理ツール BJ-Soft BJ-MechaTool	DWG形式変換 DWG形式変換 ライセンスモニタ DG ライセンスモニタ	٦		
ユーティリティ 管理ツール BJ-MechaTool	手直し奉行			
フローティングライセンスサーバの利用	財状況を確認できます 起動		終了	

ライセンスモニタダイアログが表示します。

ファイル(F) 表示(V) ヘルプ(H)				
アプリケーション名 ■BJ-Electrical	パージョン 2017	ライセンス数 3	使用数 0	,
BJ-MechaTool	2017	3	0	

BricsCAD のライセンスモニタとは異なりますのでご注意ください。

ライセンスの使用数を確認することができます。

サーバーと通信が正常に行われている場合、ライセンスサーバーの状態が表示されます。

お客様の環境や購入ライセンス数によって、「アプリケーション名」、「ライセンス数」、「ライセンスサーバ」などの 表示情報は異なります。

(借用中のライセンス表示について)

「ライセンスの借用」が行われている場合、使用数の欄には借用分のライセンスを常にカウントした値が表示されます。

ただし、借用したライセンスかどうかの区別はつきません。クライアント情報から使用端末の確認を行ってください。

(ライセンスサーバの表示について)

複数のライセンスサーバーを登録したクライアントインストーラでインストールした場合、登録したサーバー名称 をすべて表示します。

また、分散サーバー構成の場合、「アプリケーション名」、および「ライセンス数」の欄には、各ライセンスサーバーに登録されているライセンスの総数を表示します。

2. クライアント情報の確認

1) 使用しているユーザーを確認します。使用数が0以外の値であるアプリケーションを選択し「クライアント情報を表示」をクリックします。

BJ-ElectricalとBJ-MechaToolのライセンスを所有しており、BJ-MechaToolが1つ使用されている例

プリケー クライアント情報を表示	バージョン	ライセンス数	使用数		
BJ-Electrical	2017	3	0		
BJ-MechaTool	2017	3	2		

ライセンスモニタが最新の状態でない場合は、[表示]-[最新の状態に更新]をクリックしてください。

2) クライアント情報ダイアログが表示します。

 リークイセンスモニタ ファイル(F) 表示(V) ご (ゴ) 	ヘルブ(H)			
アブリケーション名 BJ-Electrical	クライアント情報 アプリケーションを	利用している端末の一覧	覧(L):	×
BJ-MechaTool	端末 DESKTO2P-G DESKTOP-GC	ユーザ名 CUD admin UD5 admin	最初にライセンスを要 2016/12/12 18:06:3 2016/12/12 18:06:3	求した時刻 7 7
ライセンスサーバ:@Serv	/er			ОК

- 3) 確認後、[OK]をクリックします。
- (ファイル]・[アプリケーションを終了]をクリックして終了します。
 ライセンスモニタが終了します。

3. クライアント ライセンスの取得

CAD 起動後 BJ 製品のコマンドを使用したときにライセンスを取得します。 その後、約1分間隔でサーバにライセンスの確認を行います。

4. クライアント ライセンスの返却

CAD 終了後、1~2分後にライセンスを返却します。

VII.バージョンアップ

ネットワーク版 BricsCAD と BJ 製品のバージョンアップ方法について説明します。

1. ライセンスサービスのバージョンアップ

サーバにインストールされているライセンスサービスのバージョンアップ方法について説明いたします。

1. 新バージョン対応メディア送付時期

ネットワーク版は、BricsCAD 日本語版の新バージョンがリリースされました後、アルファテックから新しいバージョン用のメディア(ライセンス管理サービス、クライアントインストーラ・ライセンスファイル)を送付いたします。

送付は、新バージョンの FlexNet 対応の確認などを経て、対象のユーザ様向けのメディアの作成を行い、送付 準備を行います。

一斉に送付いたしますので、BricsCAD 日本語版の新バージョンがリリースされました後、約1から2ヶ月後にお手元に届きます。

一斉送付時期よりも早めに入手されたい場合は、サポート(support@bj-soft.jp)までご連絡をお願いいたします。

2. 新バージョンご提供メディア

バージョンアップの際には以下のメディアを送付いたします。

アルファテックライセンス管理(FlexNet)サービス

最新バージョンのクライアントインストーラ

ライセンスファイルメディア

ご提供のメディアは、既存のサーバ情報に基づいて作成いたします。

FlexNet Publisher のバージョンアップに伴う対応サーバの変更がありました場合は、事前に確認させていただく場合がございます。

3. バージョンアップ作業の流れ

- ① バージョンアップ用のメディアを準備します。
- ② クライアントで借用中のライセンスを返却します。
- ③ クライアントで起動中のネットワーク版 BricsCAD を終了します。
- ④ クライアントにてその他、BricsCAD,BJ 製品ライセンスをサーバから取得している場合終了してください。
- ⑤ 他メーカのアプリケーションなど、使用サービス名が異なるアプリケーションを終了する必要はありません。
- ⑥ サーバにて LMTOOLS を起動してサービスを停止します。
- ⑦ サーバにてアルファテックライセンス管理(FlexNet)サービスをバージョンアップします。
- ⑧ サーバにてライセンスファイルを更新します。
- ⑨ サーバにて LMTOOLS を起動してサービスを開始します。
- 1 クライアントにて BricsCAD をバージョンアップします。

2. BricsCAD バージョンアップ作業

BricsCAD のバージョンアップ作業について説明します。 管理者権限のあるユーザでログイン後に、作業を行ってください。

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して以降の作業を 行ってください。

1.メディアの準備

サーバ、クライアントで使用するメディアをご準備ください。

アルファテックライセンス管理(FlexNet)サービス

最新バージョンのクライアントインストーラ

ライセンスファイルメディア

2. ライセンス使用中アプリケーションの確認

クライアントで借用中のライセンスがあれば返却されることをお勧めします。グレードアップ(Pro->Platinum など) で製品が変わる場合などは、必ず返却してください。

クライアントで起動中のネットワーク版 BricsCAD を終了してください。

クライアントにて BricsCAD,BJ 製品ライセンスをサーバから取得している場合は終了してください。

3. サービスの停止(サーバ)

LMTOOLS を起動してサービスを停止します。

- 1) [スタート]ボタンから、[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTOOLS] をクリックします。
- 2) LMTOOLS が起動すると「Start/Stop/Reread」タブを選択します。

ervice/License File	System Settings Utilities	Start/Stop/Reread Server Status	Server Diags Config Services Borrowing
	Flashi	at license services installed on this co	mouter
	FIEXA	et incense services installed on tins col	
	0000000		
	I.		
	Start Server	Stop Server	ReRead License File
-		Force Server Shutdown	
	Edit Advanced settings	NOTE: This box must be check	ed to shut down a license server
		when licenses are porrowed.	

※BricsCAD、BJ 製品のサービスを分けられている場合は、バージョンアップを行う製品のライセンスを すべて停止してください。 3) [Stop Server]ボタンをクリックします。ダイアログ下部に"Stoping Server"と表示されます。

Stopping Server

4) [File]-[Exit]を選択して LMTOOLS を終了します。

4. アルファテックライセンス管理サービスの更新(サーバ)

1) アルファテックライセンス管理サービスのメディアを ROM ドライブにセットします。

自動的にインストーラが起動しない場合は、メディア内の「BricscadNWSetup.exe」を実行してください。

2) BricsCAD NW セットアップが表示されます。[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインス トール]ボタンをクリックしてください。



3)「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストーラが起動します。

[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

岗 アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス (x86)	
アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス セップウィザードへようこそ	wh7 tuech
インストーラは アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス をインスト 要な手順を示します。	ーールするために必
警告:このコンピュータブログラムは、日本国著作権法および国際条約に す。このブログラムの全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物 の侵害となりますのでご注意ください。	より保護されていま を頒布すると著作権
< 戻る(B) 次へ(N)>	

4) 使用許諾契約の確認

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。

注意深くお読みいただいた上、すべての条項に同意いただける場合は[同意する(A)]を選択し、[次へ (N)>]ボタンをクリックします。

🚽 アルファテック FlexNet	ライセンス管理サービス (x86)	
使用許諾契約書	AU	atech
使用許諾契約書をお読みくた から[沈へ]をクリックしてくだ	だい。以下の条件に同意される場合は【同 さい。その他の場合は【キャンセル】をクリッ	意する]をクリックして ックしてください。
ソフトウェア使用計 アルファテック株式会社 約以下「本契約」)に含。 製品の使用権を許諾しま	午諾契約 :似下「当社」)はお客様(以下「使用者」 まれるすべての条件に同意した場合に限 す。	▲ 〕 〕が本使用許諾契 り、本バッケージ
第1条 - 契約の成立 本契約は、使 時点で成立し また、使用者	- 用者が対価を支払って本パッケージ製品 ます。 は弊社所定のユーザ登録手続きを完了し	∎の引渡しを受けた た後、初めて当社 ▼
 同意しない(D) 	🕐 同意する(A)	
	< 戻る(B) 次へ(N)	> =+>ンセル

5) インストールするフォルダを選択し、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

インストール フォルダの選択	Alfatee	h
インストーラは次のフォルダへ アルファテック FlexNet f	ライセンス管理サービス をインス	(}
ルしょす。 ニのフォルダにインストールするには[法へ]をクリックリ	てください。別のフォルダにインス	(+
レす つけみ、アトレスをヘノナす つかし参照」をクリックし (* フォルダ(E):	1/20616	
C:¥Program Files (×86)¥Alfatech¥	参照(R).	
	ディスク領域	(D)

6) インストールの確認が表示されます。[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



7)「インストールが完了しました」が表示されます。

「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストールは完了です。[閉じる(C)]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

岗 アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス	र (x86)	
インストールが完了しました。	All	atech
アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス は正し 終了するには、 [閉じる]をクリックしてください。	バインストールさ	hました。
(戻る(B)	(0)5)開	++>セル

5. ライセンスファイルの更新

ライセンスファイルを新しいバージョンのものに変更します。

1) [スタート]ボタンから、[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTOOLS] をクリックします。

「Config Services」タブの"Path to the license" に設定されているパスを確認します。

Windows のエクスプローラを起動し、取得されましたライセンスファイル該当場所にコピーします。

le Edit M	lode Help	Sattines	Server Diars	Config Services Borrowing
Configure S	ervice Service Name	Alfatech Flexim		Save Service
Path to th	e imzrdexe file	Jeram Files (x86)#Alfatech¥AlfatechFL¥Imerdexe	Browse	
Path to Path to the	the license e debug log file	D:WProgramData¥alfaflex¥alfaflexJog	Browse	View Log
ঘ	Start Server at	Power Up 🔽 Use Services		

- 2) 「Config Services」タブの"Path to the license"の右側の[Browse]ボタンをクリックします。
- 3) 「開く」ダイアログ表示されます。新しいライセンスファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。

理・ 新しいフォルダー					## +	61	6
PerfLogs Program Files	*	名前	-	^			更和
Program Files (x86) Alfatech		BricsCA	AD.IIC				201
Common Files							
🎳 Microsoft Office		•	m				

4) [Save Serveice]ボタンをクリックします。

LMTOOLS by Flexera Softwa	are LLC		
File Edit Mode Help			
Service/License File System Se	ettings Utilities Start/Stop/Reread	Server Status Server D	iass Confis Services Borrowins
Configure Service			Save Service
Service Name	Alfatech Flexim		Remove Service
Path to the Improtence file	C:¥Program Files (x86)¥Alfatech¥Alfa	techFL¥ime Browse	
Path to the license	lies (x86)#Alfatech¥AlfatechFL¥Bric	sCADlic Browse	
Path to the debug log file	C:¥ProgramData¥alfaflex¥alfafle×log	Browse	View Log_ Close Log
🔽 Start Server at Pi	ower Up 🔽 Use Services		

5) メッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。



6) 「Start Stop Reread」ボタンを選択し、[Start Server]ボタンをクリックします。

ervice/License File	Help Svstem Settines) Utiliti	ies Start/Stop/Reread Server Status	 Server Dians Con fins Services Bo	rrowing
1				
		Notesh Florin		
		7 4: 3:		
	Start Server	Stop Server	ReRead License File	
	Edit Advanced settings	Force Server Shutdown NOTE: This box must be check when licenses are borrowed.	ed to shut down a license server	

7) ダイアログ下部に「Server Start Successful」と表示されます。

ervice/License File	System Settings Utilities	; Start/Stop/Reread	Server Status	Server Diags	Config Services	Borrowing
	Fle	Net license services in:	stalled on this cor	nputer		
	100	MAION FRI MITH				
	-					
	1					
	Start Server	Stop Se	erver	ReRea	d License File	
	Edit Advanced settings	Force Ser NOTE: This bo	ver Shutdown xmust be checke	ed to shut dowr	n a license server	
		when licenses	are borrowed.			

8) [File]-[EXIT]を選択して終了します。

3. BricsCAD のバージョンアップ(クライアント)

クライアント PC でクライアントインストーラを実行します。本作業は管理者権限(Administrator)で行ってください。 クライアントに BricsCAD (ネットワークライセンス版)をインストールします。

1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について

クライアントインストーラを使用してインストールを実施します。

クライアントインストーラ BricsCAD のグレード(Classic, Pro, Platinum)ごとに、インストールフォルダが管理されています。

複数のグレードをご購入いただきました場合、以下のようにグレードごとのインストーラフォルダで構築されます。

PlatinumとProをご購入いただいた場合共有フォルダにインストーラをコピーした例

🔺 🍌 共有PCフォルダ	^	名前	更新日時	種類
BricscadPlatinumNW		퉬 BricscadPlatinumNW	2014/02/27 13:29	ファイル フォル
🛛 📕 BricscadPlatinumNW64		BricscadPlatinumNW64	2014/02/27 13:29	ファイル フォル
BricscadProNW		BricscadProNW	2014/02/26 12:59	ファイル フォル・
BricscadProNW64		BricscadProNW64	2014/02/26 12:52	ファイル フォル.
🜉 EN				
FU				

(フォルダ説明)

BricscadProNW: BricsCAD Pro 32bit 用のインストーラ

BricscadProNW64: BricsCAD Pro 64bit 用のインストーラ

BricscadPlatinumNW: BricsCAD Platinum 32bit 用のインストーラ

BricscadPlatinumNW64: BricsCAD Platinum 64bit 用のインストーラ

各フォルダ以下にある setup.exe を実行するとインストールが始まります。

32bitOS に 64bit 版のインストーラを実行した場合は、BricsCAD のインストールエラーとなります。

初期設定では、クライアントにインストールされている BricsCAD をアンインストール後、現バージョンのインストールが実行されます。

既存の BricsCAD をアンインストールせずに新規バージョンをインストールしたい場合

デフォルトでは、すべての Bricscad と BricsCAD NW をアンインストールして、現バージョンのインストールが実行されます。アンインストールの有無は setup.iniの下記セクションを編集することで設定変更が可能です。

デフォルト記述:インストールされたすべての BricsCAD をアンインストールします。

[UninstallBricscad]

Version=*

編集例:BricsCAD V17 のクライアントインストーラの場合(V17 以外アンインストールしない記述)

[UninstallBricscad]

Version=17

インストール対象の BricsCAD バージョンは必ずアンインストールする必要があります。

2. BricsCAD インストールの実行

BricsCAD Platinum ネットワーク版のインストール作業例です。

1) 管理者権限(Administrator)で Windows にログインします。

使用中のアプリケーションをすべて終了させます。

- 2) クライアントインストーラのフォルダを開き(またはメディア内のフォルダを開き)、インストールする BricsCAD グレードのフォルダを開きます。
- 3) Setup.exe をダブルクリックします。

(例:BricsCADPIratinum 32bit 版用のフォルダを開いた例です)

整理 ▼ 💼 開く 新しいフォルダー							
BricscadPlatinumNW32	*	THE	-	1	The second se		and a
🐌 BricscadPlatinumNW64		11			63	15	503
🔒 Favorites		Bricscad	Installer	PostInstall	Autorun.in	Setup.exe	Setup.ini
Ibraries				0	f		
퉬 パブリックのダウンロード							
🍶 パブリックのドキュメント	1						
🌗 パブリックのピクチャ	E	WindowsI					
冯 パブリックのビデオ		nstaller-K					
퉬 パブリックのミュージック		2-x86.exe					

OSによってはユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

4) メッセージが表示されます。

※BricsCADの旧バージョンがインストールされている場合、先に旧バージョンがアンインストールされます。

Windows インストーラー	
インストールの準備中	
	=++>tzlu



メッセージが消えたら、インストールの完了です。

これで、クライアントPCへの BricsCAD インストール作業は終了です。

<u>4. BJ 製品のバージョンアップ(クライアント)</u>

BJ 製品のバージョンアップについて説明します。本作業は管理者権限(Administrator)で行ってください。

1. インストーラについて

ご購入製品のインストールメディアをご準備ください。

2. ビージェーソフト製品のインストールの実行

以下は、BJ-Mechatoolのインストール作業の例です。

- BJ-Electrical をインストールされます場合は製品名を読み替えてくださいますようお願いいたします。
- 1) 管理者権限(Administrator)で Windows にログインします。使用中のアプリケーションをすべて終了させます。
- 2) メディアを PC に挿入します。

セットアップウィザードへようこそダイアログが表示されます。[次へ(N)>]ボタンをクリックします。 表示されない場合は、メディア内の Setup.exe をダブルクリックして実行してください。

岁BJ-MechaTool (x64)	•
BJ-MechaTool セットアップ ウィ	rザードへようころBJ-Soft
インストーラは BJ-MechaTool をインストール	するために必要な手順を示します。
警告:このコンピュータブログラムは、日本国 す。このブログラムの全部または一部を無断 の侵害となりますのでご注意ください。	著作権法および国際条約により保護されていま で複製したり、無断で複製物を頒布すると著作権
(<)	戻る(B) (次へ(N)) キャンセル

3) 使用許諾契約の確認

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。

注意深くお読みいただいた上、すべての条項に同意いただける場合は[同意する(A)]を選択し、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

岁 BJ-MechaTool (x64)	
使用許諾契約書	BJ-Soft
使用許諾契約書をお読みください。以 からじたへ」をクリックしてください。その	Fの条件に同意される場合は[同意する]をクリックして 他の場合は[キャンセル]をクリックしてください。
ソフトウェア使用許諾契約 ビージェーソフト株式会社(以下 契約(以下「本契約」)に含まれる ジ製品の使用権を許諾します。	】 「当社」)はお客様(以下「使用者」)が本使用許議 すべての条件に同意した場合に限り、本パッケー
第1条 - 契約の成立 - 本契約は、使用者が対 時点で成立します。 また、使用者は弊社所	価を支払って本パッケージ製品の引渡しを受けた 定のユーザ登録手続きを完了した後、初めて当社 ▼
⑦ 同意しない(D)	◎ 同意する(A)
	< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

4) ユーザー情報を入力し、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

뷙 BJ-MechaTool (x64)	
ユーザー情報	BJ-Soft
次のボックスに名前を入力してください ます。 名前(<u>A)</u> :	。インストーラはこの情報を今後のインストールに使用し
Admin	
所属():	
	(く 戻 5(B) (次へ(N) >) キャンセル

5) インストールフォルダを選択し、【次へ(N)>】ボタンをクリックします。

BJ-MechaTool (x64)	
インストール フォルダの選択	BJ -Soft
インストーラは次のフォルダへ BJ-MechaTool をインスト	ールします。
このフォルダにインストールするには[次へ]をクリックして ルするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてく)	ください。別のフォルダにインストー ごさい。
フォルダ(E):	
C:¥Program Files¥BJ-Soft¥	参照(R)
	ディスク領域(D)

6) インストールの確認が表示されます。[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

BJ-MechaTool (x64)	
インストールの確認	BJ-Soft
BJ-MechaTool をインストールする準備ができました。	
[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。	
1	
< 戻る(B)	次へ(N)> キャンセル

7)「インストールが完了しました」が表示されます。インストールは完了です。

[閉じる(C)]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

BJ-MechaTool (x64)	
インストールが完了しました。	BJ-Soft
BJ-MechaToolは正しくインストールされました。	
終了するには、[閉じる]をクリックしてください。	
(戻ろ(日))	間"る(0) キャンセル

BJ-MechaTool のインストールの完了です。

「インストールが完了しました」が表示されます。インストールは完了です。

[閉じる(C)]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

VIII.付録

FlexNet のオプション構文について説明します。

オプションファイルにオプション構文を設定することで、ライセンスの借用期間の最大値変更、ライセンスを特定のマシン、ユーザー、グループに使用させるような設定などが可能です。

BricsCAD 環境引継ぎツール、ログ解析ツールについても説明しています。

1. FlexNet オプションファイル

FlexNet Publisher では、オプションファイルを設定することにより、特定のマシンにのみライセンスを許可するなど、細かい制御を行うことができます。

1. FlexNet オプションファイル

FlexNet オプションファイルとは、FlexNet ネットワークライセンスに対して、オプション構文を設定し、ネットワー クライセンスアクセスの制御など行うためのファイルです。

オプションファイルのデフォルトは空となっています。

オプションファイルの内容は、メモ帳、または、任意のエディタを使用して編集してください。

2. FlexNet オプションファイル制限

保存時は必ず UTF-8 形式で保存してください。

オプションファイルは必ずライセンスファイルと同じ場所に保存してください。

オプションファイル名と配置場所は以下のとおりです。

オプションファイルの1行目は必ずコメント行を入れてください。;(コメントアウト)、#(コメント)で始まる記述とします。



オプションファイル内ではすべて、大文字と小文字が区別されます

3. オプションファイル名

オプションファイルは、ベンダー毎となります。BricsCADとBJ製品ではオプションファイル名が違いますのでご注意ください。

BricsCAD 用のオプションファイル名 : BRICSCAD.opt

配置場所: BRICSCAD.exe と同じフォルダ

BJ 製品用のオプションファイル名 : alfaflex.opt

配置場所 : alfaflex.exe と同じフォルダ

(例:C:¥Program Files(x86)¥Common files¥Alfatech¥AlfatechFL)

※ BricsCAD とビージェーソフト製品では、設定するオプションファイルが異なります。

※ オプションファイルを編集後、有効にするには、LMTOOLS にて使用するサービスを再起動してください。

4. オプションファイルの書式

オプションファイルは UTF-8 形式のテキストファイルで、以下のような書式となります。 各項目はスペース(半角)にて区切ります。

※ オプションファイルの1行目には、必ず、コメント行を入れてください。

(BricsCAD ライセンス:サーバーから貸し出す日数の最大値を指定した例)



(書式説明)

変数

対象ライセンス製品 値

MAX_BORROW_HOURS BCADNW_PT 240

値は1時間単位で指定します。(最大10日を指示した例)

2. FlexNet オプション構文

FlexNet オプションには、様々なオプション構文があります。よく使用されるものを抜粋してご紹介します。

1.オプションファイルキーワード

現在、本製品で使用できるキーワードは以下のとおりです。

オプション・キーワード	説明
INCLUDE	指定した対象にのみ、使用を許可する。
INCLUDE_BORROW	指定した対象にのみ、貸し出しを許可する。
EXCLUDE	指定した対象に対し、使用を禁止する。
EXCLUDE_BORROW	指定した対象に対し、貸し出しを禁止する。
MAX	指定した対象に対し、ライセンス数の上限を設定する。
RESERVE	指定した対象に対し、ライセンスを予約する。
GROUP	ユーザーグループを定義する。
HOST_GROUP	PC グループを定義する。
TIMEOUT	クライアントが取得したまま、未使用状態が続いたときにライセン
	スを回収する時間を定義する。(秒単位)
MAX	最大使用ライセンス数を定義する。
MAX_BORROW_HOURS	クライアントにライセンスを貸し出す期間を定義する。(1 時間単
	位)
BORROW_LOWWATER	借用できないライセンス数を設定する
MAX_BORROW_HOURS	ライセンス借用の最大時間を指定する。

2. 製品ライセンスコード(フィーチャー名)

オプションファイルで製品ライセンスごとに指定する場合、製品のライセンスコード毎に指定します。

BricsCAD ライセンスコード

製品名グレード	ライセンスコード
BricscadNW Classic	BCADNW
BricscadNW Pro	BCADNW_PRO
BricscadNW Platinum	BCADNW_PT
BricsCAD Communicator	communicator
BricsCAD SheetMetal	SheetMetal

BJ 製品のライセンスコード

製品名	ライセンスコード
BJ-Electrical	BJ-E
BJ-Mechatool	BJ-M
BJ-Mechatool Pro	BJ-M-PRO
BJ 変換 JW•SXF	BJ-TRANS

3. 識別

識別する名前の種類をキーワードで定義します。以下のような種類があります。

識別	説明
USER	プログラムを実行しているユーザー名(Windows のログイン名)
HOST	アプリケーションを実行しているクライアントのマシン名
GROUP	オプション行の中で定義したユーザーグループ名
HOST_GROUP	オプション行の中で定義したマシングループ名

※ "GROUP", "HOST_GROUP" は、対象が多いときに、グループ指定するために使用します。

4. ライセンスの返却(タイムアウト)

クライアント PC で BricsCAD を起動し、ライセンスを取得したまま使用していない場合でも、BricsCAD を終了しない限りライセンスはそのクライアント PC に保持されます。

タイムアウトオプションを設定すると、設定時間実行されない場合にはライセンスはサーバに自動返却されます。

構文:TIMEOUT

書式:構文 ライセンスコード 値

※値は秒単位で指定します。(3600 秒=1 時間)

ライセンスのタイムアウトを設定 例

TIMEOUT BCADNW 3600

5. ライセンス使用の許可

ライセンスを使用を許可するユーザを設定します。 構文:INCLUDE 書式:構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名 指定した PC(PC1 と PC2)にのみ、BricsCAD Pro グレードのライセンス使用を許可する例 INCLUDE BCADNW_PRO HOST PC1 INCLUDE BCADNW_PRO HOST PC2

6. グループの定義記述例

Windows のログイン名、PC 名にてグループの定義が可能です。 対象の PC またはユーザー数が多い場合、グループを定義することが可能です。 構文:HOST_GROUP グループ名 クライアントホスト名(,カンマ区切りで複数指定可能) グループ A とグループ B を作成し、それぞれに INCLUDE(ライセンス使用許可)構文を設定した例 HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4 HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10 # GROUP_A のみに BricsCADPro の使用を許可 INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A # GROUP_B のみに BricsCADClassic の使用を許可 INCLUDE BCADNW HOST_GROUP GROUP_B

7. 最大使用ライセンス数の指定

最大使用ライセンス使用を指定することができます。 構文:MAX 書式:構文 ライセンスコード クライアントホスト名またはグループ名(,カンマ区切りで複数指定可能) グループを定義し、グループ名で指定した例

(グループ Bには 6 台の PC を登録していますが、6 台中 5 台までの同時使用を制限した例)

HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4

HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10

INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A

INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_B

MAX 5 BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_B

※ライセンス数が9の場合、Aグループでは常にライセンスを確保することができます。

(記述イメージ)

BricsCAD.opt - 火モ帳	8 — 8	×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)		
; 必要に応じてオプション設定を記入してください。 HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4 HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10 INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_B MAX 5 BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_B		0
		4
< C		> .::

※A グループに対して「RESERVE」を使用してライセンス数を予約(確保)設定しても同じ効果となります。
 最後の行を以下のように変更します。
 RESERVE 4 BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A

常に4ライセンスはAグループにて予約(確保)されます。

8. ライセンス借用の制限と禁止

借用できないライセンス数を設定します。 構文:BORROW_LOWWATER 書式:構文 ライセンスコード 値 製品(BricsCAD Platinum)ライセンス数 10 に対して 5 ライセンスの借用を制限する例 BORROW_LOWWATER BCADNW_PT 5

ライセンスの借用を禁止するユーザを設定します。 構文:EXCLUDE_BORROW 書式:構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名 指定した PC(PC3,PC4)のライセンス借用を禁止する例

EXCLUDE_BORROW BCADNW_PRO HOST PC3

EXCLUDE_BORROW BCADNW_PRO HOST PC4

ライセンスの借用時間を制限します。

構文:MAX_BORROW_HOURS

書式:構文 ライセンスコード 値

※値は1時間単位となります。

製品(BricsCAD Platinum)の最大借用日数を10日とした例

MAX_BORROW_HOURS BCADNW_PT 240

クライアントの借用ダイアログには制限日数は表示されません。

クライアントが最大日数以上の日を指定した場合は以下のメッセージが表示されます。



ご注意

クライアントがライセンスを借用状態で、PC が故障した場合など、不慮の動作によりライセンス返却が出来ない 倍、サーバからライセンスを強制回収することは出来ません。

ライセンス貸し出し申請日数が過ぎるまで、ライセンスは返却されませんのでご注意ください。

BricsCAD を起動したままではライセンスの借用はできません。以下のメッセージが表示されます。

N 📑	BricscadNW
	イセンスの貸し出し申請時(エラーが発生しました。(error=1) icscad Platinum (使用中のため、貸し出し申請ができません。 · 旦終了してから再度申請し直してください。 詳細(D)>> 閉じる(C)
	0.0000.0.000

BricsCAD を終了してから再度借用を実行してください。

BricsCAD を起動したまま返却を行うことは可能ですが、ライセンスは返却されていますのでライセンス数と起動 BricsCAD 数の不一致が発生します。

BricsCAD を再起動するまでは新たなライセンスを取得しませんのでご注意ください。

3. 環境設定引継ぎツール

BricsCAD は、新しいバージョンと古いバージョンが共にインストールされているとき、新しいバージョンを始めて起動すると、プロファイルなどの設定を新しいバージョンに移行するかどうかの確認のダイアログが表示されます。 ここで、移行しないを選択した場合、後から設定を引き継ぐことはできません。

また、BricscadNW のインストール時に旧バージョンはアンインストール(デフォルト)されますので、設定の移行を行うことができません。

本ツールでは旧バージョンをアンインストールした後でも、旧バージョンのプロファイルを新しいバージョンの Bricscad に移行することができます。

1. プログラム名

プログラム名: BMing.exe



BMig.exe

アルファテックライセンス管理(FlexNet)サービスメディアの¥MISC¥TOOL¥に入っています。

BJ-SOFT HP(http://www.bj-soft.jp/)のボーナスツールページにてマニュアル(pdf)をダウンロード可能です。

http://www.bj-soft.jp/Bricscad/bonus-tool/

上記から[ボーナスツールダウンロード]をクリックし、必要事項を入力して進んでいただくとダウンロードも可能です。

2. 移行対象

ログオンユーザーのすべてのプロファイル

ログオンユーザの LocalRootFolder^{※1}

ログオンユーザの RoamableRootFolder (default.cui と tipofday.txt *.lnk は除く)^{※2}

default.cui に含まれる部分 cui ファイル^{※3}

※1 LocalRootFolder は、主にテンプレートがコピーされるフォルダです。

※2 RoamableRootFolder は、メニューなどがコピーされるフォルダです。

※3 旧バージョンのメニューファイル(default.cui)は新しいバージョンのメニューファイル(default.cui)に 置き換えられます。ただし、追記された部分については、新しいバージョンのメニューファイルにも、 追記されます。

3. オプション

以下のコマンドラインオプションが使用可能です。

オプション	説明
/I	ログファイルのパスを指定する。指定が無いときは、%TEMP%¥BMig.log に作成さ
	れる。
/s	確認のメッセージボックスなどを出さずに実行する。
/sourse バージョン	移行元バージョンを指定する(例:/source V16)。サイレントモード時で、指定が
	無いか無効な場合、インストールされている最新の Bricscad 未満で、最も新
	しいバージョンのプロファイルを移行元となる
∕target バージョン	移行先バージョンを指定する(例:/source V17)。サイレントモード時で、指定が
	無いか無効な場合、インストールされている最新の Bricscad を移行先となる。
4. プロファイルの移行

■旧バージョンのインストールの既定値(V16の例)

"%Program Files%¥Bricsys¥Bricscad V16" (V16 の部分はバージョンによって変わります)

旧バージョンのインストール先が既定値ではない場合、任意に指定する必要があります。

1.BMing.exe と同じ場所にメモ帳などで BMing.txt を作成します。

2.BMing.txtを開き下記のように記述します。(インストール先:Dドライブの例)

[V17]

InstallDir=D:\Programs\Bricscad V16

バージョンをセクション名とし、"InstallDir"をキーとして、インストール先のフォルダをフルパスで記述します。 そのバージョンの Bricscad が既存でインストールされている場合は、インストール先は設定ファイルではなく、 レジストリから取得されます。

■複数のバージョンがインストールされている場合

移行元または移行先のバージョンが複数存在する場合、一覧から移行元と移行先のバージョンを選択します。 (例) V14、V15、V16 のプロファイルが残っていて、V16、V17 がインストールされている場合、移行元として、

V14、V15、V16 の何れかを、移行先として、V16、V17 の何れかを選択します。

コマンドラインにて"BMig.exe /source V16" 等のようにオプションキーを使用して有効なバージョンを指定して 実行した場合は、画面上で選択することなく移行処理が行われます。

5. 実行方法

- 1) ツールの実行前に、ログオンユーザで一度 最新バージョンの BricsCAD を起動し、終了します。
- 2) BMing.exe を実行します。

設定(N移行先となる Bries	CAD を検出して	います	
設定で)移行元となる Brics	CAD のプロファイ	ルを検	
	移行パージョンの設	定	×	
	複数の移行対象 設定を移行する/	があります。 ベージョンを指定し	てください。	
	and a second			
	移行元(S):	V16×64	~	
	移行元(S): 移行先(T):	V16×64	~	

移行元:移行元のバージョンを選択します。

プロファイルが存在するバージョンが表示します。



移行先:移行先のバージョンを選択します。

インストールされているバージョンが表示します。 移行先(T): V17×64 ~



6. 制限事項

ツールの実行前に、ログオンユーザで一度 BricsCAD を起動し、終了しておく必要があります。

※LocalRootFolder と RoamableRootFolder のいずれかが無い場合、処理を中止します。

default.cui に加えられた変更は元に戻ります。(メニューの並び替えなども含む)

新しいバージョンのプロファイルを古いバージョンに移行することはできません。

4. ライセンスログ解析ツール

本ツールは BRICSCAD のライセンス使用のログを解析して1日あたりの使用数、平均使用数、ユーザーごとの使用時間、拒否数を CSV ファイルに作成するものです。

1. プログラム名

アルファテックライセンス管理(FlexNet)サービスメディアの¥MISC¥TOOLS¥に入っています。

プログラム名: AlfatechLicenseLogAnalyze.exe

2. 操作手順

1) デスクトップなどに AlfatechLicenseLogAnalyze.exe アイコンをコピーします。



2) アイコンをダブルクリックします。ダイアログに、ログファイルのパスや集計期間を入力します。



【ダイアログ説明】

①FlexNet ライセンスサービスログファイルがあるパスを指定します。

②集計ファイルを出力するフォルダを指定します。

③集計を行う開始日を指定します。(yyyy/mm/dd)

④集計を行う終了日を指定します。(yyyy/mm/dd)

⑤カレンダー(右図)コントロールを表示します。

3) [実行]ボタンをクリックして集計処理を実行します。
 処理中は、ログファイルの解析に時間がかかる場合があります。
 CSV ファイルが作成すると、「CSV ファイルを作成しました」メッセージがでます。
 CSV ファイルは出力フォルダに作成されます。

3. ログファイル

FlexNet ライセンス管理サービスで作成されるログファイルを使用して、ログ解析を行います。 サーバで作成されるログファイルの内容を解析して、日々のライセンス使用状況を確認することが可能です。 ログファイルの保存場所を確認し、ログ解析を行うために他のフォルダにコピーします。

1) [スタート]-[プログラム]-[Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTOOLS]を選択 します。

LMTOOLS ダイアログが開きます。

2) [Config Services]タブをクリックします。

「Path to the debug log file」に指定されているパスの場所と名前を確認します。

Configure Service			
Service Name	Alfatech Flexim		Save Service Remove Service
Path to the Imgrd.exe file	C:¥Program Files (x86)¥Alfatech¥AlfatechFL¥Img	Browse	
Dall to the Freedom	C#Program Files (v86)#Alfstech#AlfstechFL#Brir	Browse	-
Path to the debug log file	+C:¥ProgramData¥alfafle>¥alfafle×Jog	Browse	View Log
🔽 Start Server at P	ower Up 🔽 Use Services		

※ログ解析をされる場合、「Path to the debug log file」のパスの先頭に「+」をつけて指定してください。

「+」が付いていない場合、FlexNet が再起動するたびにファイルの中身が初期化されます。

「+」を付加した場合は[View Log]ボタンからのログ表示はできません。パスのエラーとなります。その場合は、保存先にある*.logファイルをエディタまたはメモ帳などで直接開いてください。

3) Windows のエクスプローラなどを使用して、ログ解析を行う為のフォルダにコピーしてください。

4. ログファイルの書式

書式は FlexIm 仕様に準拠しています。

時刻 (デーモン) 動作(*2)"ライセンス名" ログオンユーザー名(*1)@コンピュータ名

(*1)ログオンユーザー名は、コンピュータ名が表示される場合もあります。

(*2) 動作種類

OUT: ライセンス付与

IN: ライセンス回収

DENIED: ライセンス拒否

TIMESTAMP 月/日/年 表示

ログファイル例

[時間] [ベンダー名] [動作]:["ライセンスコード"] [ログオンユーザー名(*1)@コンピュータ名]

15:20:34 (BRICSCAD) (@BRICSCAD-SLUG@) ====================================	
15:21:18 (alfattex) IN: BJMFRU Support@FC-A 15:21:18 (BRICSCAD) IN: "BCADNW_PT" support@PC-A 15:22:41 (BRICSCAD) OUT: "BCADNW PT" support@PC-A 15:22:44 (alfaftex) OUT: "BJMPRO" support@PC-A 15:22:51 (alfaftex) IN: "BJMPRO" support@PC-A 15:22:51 (alfaftex) IN: "BCADNW_PT" support@PC-A	
15:22:54 (BRICSCAD) OUT: "BCADNW_PT" user1@PC1 15:22:54 (BRICSCAD) OUT: "SheetMetal" user1@PC1 15:23:01 (BRICSCAD) OUT: "BCADNW_PT" user1@PC1 15:23:02 (BRICSCAD) OUT: "SheetMetal" user1@PC1	
<	×

(上記赤枠の説明)

15:21:00 クライアント「PC1」のログオンユーザ「user1」が BricsCAD を起動し BricsCADPlatinum と SheetMetal のライセンスを付与

15:21: クライアント「PC1」のログオンユーザ「user1」が BricsCAD を起動し BricsCADPlatinum と SheetMetal のライセンスを付与

※ただし、既に PC1 にはライセンスが付与される為、多重の付与はされません。

従って、user1@PC1で消費されるライセンスは"1"となります。

15:22:54 クライアント「PC1」のログオンユーザ「user1」が BricsCAD を1 つ終了し BricsCADPlatinum と SheetMetal のライセンスを回収

※ただし、既に PC1 には 2 回付与した情報がある為、使用ライセンスの回収は行われません。

従って、user1@PC1 で消費されるライセンスは"1"のままとなります。

15:23:01 クライアント「PC1」のログオンユーザ「user1」が BricsCAD を1 つ終了し BricsCADPlatinum と SheetMetal のライセンスを回収

※user1@PC1のIN 情報とOUT 情報の回数が一致している為、ライセンスは回収されます。

5. CSVファイルフォーマット

集計処理にて作成される各ファイルのフォーマットを記述します。

1) 使用数.csv

各製品の使用数の平均と最大値を日付ごとに出力します。

平均値の計算方法(平均値は、小数点2桁で出力します。)

ライセンス使用時間を1時間ごとに区切ります。

各1時間ごとの最大使用数の合算/使用時間数

最大値は各日付での最大値を採用します。

※集計時間内で最大の使用数を最大値として出力します。

<例> 使用数.csv

〈ファイルフォーマット〉

"日付","製品名(平均)","製品名(最大)","製品名(平均)","製品名(最大)","製品名(平均)","製品名(最大)" <-ヘッダー行

"2011/06/01", "1.9","2", "0","0", "1.9","2" 〈-集計データ

"2011/06/02", "3","5" , "1.9","2" , "0","0"

"日付", 日付,"BricscadClassic NW(平均)","BricscadClassic NW(最大)","BricscadPro NW(平均)","BricscadPro NW(最大)","BricscadPlatinum NW(平均)","BricscadPlatinum NW(最大)"

"2011/06/01", "1.9", "2", "0", "0", "4.3", "5"

2) ユーザー毎使用時間.csv

各製品の使用時間の合計をユーザーごとに集計し、出力します。

〈ファイルフォーマット〉

"ユーザー名","製品名","製品名","製品名"<-ヘッダー行

"Administrator@CAD1", "13:50:20", "00:00:00", "00:00:00" <-集計データ

"Administrator@CAD2", "00:00:00", "00:00:00", "20:10:00"

<例> ユーザー毎使用時間.csv

ユーザー名,"BricscadClassic NW","BricscadPro NW","BricscadPlatinum NW"

"Administrator@CAD1", "13:50:50", "00:00:00", "00:00:00"

"Administrator@CAD2", "00:00:00", "00:00:00", "20:50:20"

3) 拒否数.csv
各製品の拒否数を日付ごとに出力します。
<ファイルフォーマット>
"日付","製品名","製品名","製品名" <-ヘッダー行
"2011/06/01", "1", "0", "0" <-集計データ
"2011/06/02", "0", "0", "1"
<例>拒否数.csv

日付,"BricscadClassic NW","BricscadPro NW","BricscadPlatinum NW" "2011/06/01", "1", "0", "0" "2011/06/02", "0", "0", "1" "2011/06/03", "1", "0", "1"

6. EXCEL でグラフ化する手順

作成した CSV ファイルの内容をグラフ化する手順を説明します。

- 1) 作成した使用数.CSV を EXCEL のファイルメニュー[開く]から開きます。
- 2) ファイルを開く際にテキストファイルウィザードが表示されます。
- 3) 初めに表示される内容については変更せず、[次へ]ボタンを押します。

		? 23
選択したデータは区切り文字で区切られています。		
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。		
元のデータの形式		
データのファイル形式を選択してください。		
◎ カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区	切られたデータ(D)	
🕐 スペースによって右または左に揃えられた固定長フィール	ドのデータ(<u>W)</u>	
取り込み開始行(B): 1 元のファイル(Q):	932:日本語 (シフト JIS)	
ファイル C.¥Users¥Denki¥Desktop¥使用数csv のプレビュー 11『日付", "BRICSCAD(平均)", "BRICSCAD(最大)"		^
ファイル C.¥Users¥Denki¥Desktop¥使用数.csv のプレビュー 1 『日付", "BRICSCAD(平均)", "BRICSCAD(最大)" 2 『2012/03/26", "5.75", "7"		- I
ファイル C¥Users¥Denki¥Desktop¥使用数csv のブレビュー 1 『日付", "BRICSCAD(平均)", "BRICSCAD(最大)" 2 『2012/03/26", "5.75", "7" 3 『2012/03/27", "6.08", "8" "2012/03/27", "6.80.8", "8"		Î
ファイル C¥Users¥Denki¥Desktop¥使用数csv のプレビュー 1 *日付*, *BRICSCAD(平均)*, *BRICSCAD(最大)* 2 *2012/03/26*, *5.75*, *7* 3 *2012/03/27*, *6.08*, *8* 4 *2012/03/28*, *5.50*, *7*		•
ファイル C¥Users¥Denki¥Desktop¥使用数csv のプレビュー 1 "日付", "BRICSCAD(平均)", "BRICSCAD(最大)" 2 "2012/03/26", "5.75", "7" 3 "2012/03/27", "6.08", "8" 4 "2012/03/28", "5.50", "7" イ		•

4) カンマのチェックボックスにチェックを入れて[次へ]ボタンを押します。

		D Contraction
定してください。 ぼータのプレビ □ 連続した区切り文字は 文字列の引用符(Q): [∞]	1ー] ボックスには区切り位置が表示されます。 1 文字として扱う(R)	
平均)BRICSCAD(最大) 7 8 7		•
101	 連続した区切り文字は 文字列の引用符(Q): (*) 平均) BRICSCAD(最大) 7 8 7 	□ 連続した区切り文字は 1 文字として扱う(E) 文字列の引用符(Q): 「」」 平均) BRICSCAD(最大) 7 8 7

5) 日付の列のみ列のデータ形式を「日付」に変更し、「次へ」ボタンを押します。

テキストノアイルリイサート	- 3 / 3	X
区切ったあとの列のデータ形式を選	訳してください。	
列のデータ形式 の G/標準(G) の 文字列(I) の 日行(D) YMD ・	[G/標準]を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文号 変換されます。 ▼ ぼ細(<u>A</u>)…	許列に
💮 削除する(1)		
データのプレビュー(<u>P</u>)		
データのプレビュー(E) YMD 。/標準	2/標準	
データのプレビュー(E) YMD G/標準 日付 BRICSCAD(平均) 2012/03/26 5.75	G/標準 BRICSCAD(最大) 7	
データのプレビュー(P) YMD G/標準 日付 BRICSCAD(平均) 2012/03/26 5.75 2012/03/27 8.08 2012/03/28 5.50	B/標準 BRICSCAD(最大) 7 8 7	•

- 6) データが EXCEL に取り込まれます。
- 7) グラフに表示したいデータ範囲を指示します。

(X) L	a 19 • (* -	₹					15	使用数.cs	v - Microso	ft Excel							0	æ	23
ファイ	ルホーム	挿入	ページレ	イアウト	数式	データ	校閲	表示									۵ () - @	23
<u>ן</u> ציאשו	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	i 🔜		⑦ 図形 ▾ ⑦ SmartAi ፼ スクリーン: 図	t ≻ay⊦≁	縱棒	 从 折れ線 ● 円 ・ 着棒・ ガラ 	* <mark>≌</mark> 面 <u>⊡</u> 散 €) そ0	・ 布図・ D他のグラフ・ G	 	線 スラ イン フィ	iイサー パリター	の ハイパーリン リンク	ク テキ ポッ	- - スト ヘッダー ウス + フッター テキスト		π 数3 Ω Ω Ω □ □ □ □ □ □ □ □	℃、 影特殊文音	字
	A1		- (8	fx 日作	t	叙述				-//									~
A	A			В		\$274# A	デニコた十五10	±7		1	F	G		н	I	J)	К	E
1	日付		BRICSC	DAD(平均)	BRIC	利此作中心	/フノを押入し	72.9 =	. [-			1
2	20	012/3/26	6	5.7	5	縦棒ク	ラフは、項目	目の値を比	較する										
З	20	012/3/27	7	6.0	8	のに使	明します。												
4	20	012/3/28	3	5	5		7		9.										-
5	20	012/3/29)	6.5	7		8												-
6	20	012/3/30)	6.3	6		9												-
7	20	012/3/31			4		4												
8	2	2012/4/1		-	0		0												
9		2012/4/2	-	1	2		10												
10	-	2012/4/3	1	0.0	8														
10		2012/4/4	+	0.1	5 7		0												
13		2012/4/0	, ;	5.6	7		2												
14		2012/4/0	7	5.0	é.		6												
15		2012/4/8	3	0.0	4		4												
16		2012/4/9	à	7.5	4		10												
17	20	012/4/10	5	7.8	1		11												
18	20	012/4/11		8.0	7		10												
19	20	012/4/12	2	7.4	6		9												
20	20	012/4/13	3	7.3	5		13												
21	20	012/4/14	1	4	4		6								interference of	1 1 60		CAP5	
22	20	012/4/15	5	4.7	9		5									• A 股		🧭 KANA -	-
23	20	012/4/16	3	7.1	1		10												
24	20	012/4/17	1		8		10												
25	20	012/4/18	3	7.5	7		12												
26	20	012/4/19	3	8	5		12												
27	20	J12/4/20	J	8.9	2		11												
28	20	J12/4/21		4./	0		6												v
14 4	▶ ▶ 使用数	2					02.1			Į	4			11	ſ			•	1
JAN	*		_					平均:	13672.6293	9 データの	0個数:6	59 合	計: 902393	8.54	⊞□□1	00% 😑)	0	Ð
		■ デスク	マトップ			Migros	oft Excel		ക് 3.jpg - /	ペイント							12 🗗		

8) 指示した後、挿入タブで表示されているグラフ内の縦棒アイコンを選択します。

9) 縦棒アイコンを選択すると作成できるグラフパターンの一覧が表示されます。



X	】 *) * (™ + - 】 ホーム 挿入	使用数.csv ページレイアウト	Microsoft Excel 数式 データ 校閲	表示	デザイン	クラフ ツール レイアウト	書式		۵	x & _
グラフの の変	 2種類 テンプレート 運類 たいて保存 理類 テンプレート 行/列の 切り替え すって、 	ウ <i>テータの</i> え 選択 ータ			ılı []		มา ชีวิวิติวิชาม	h di		小 グラフの 移動 場所
	グラフ3 🔹	(<i>f</i> x								×
A	A	В	C	D	E	F	G	Н	I J	К
1	日付	BRICSCAD(平均)	BRICSCAD(最大)	1						6
2	2012/3/26	5.75	7							
З	2012/3/27	6.08	8							
4	2012/3/28	5.5	7							
5	2012/3/29	6.57	8							
6	2012/3/30	6.36	9							
1	2012/3/31	4	4							
8	2012/4/1		0							7
10	2012/4/2	6 1	4							
11	2012/4/3	e i	2							
12	2012/4/5	5	2							
13	2012/4/6	5 1	0							
14	2012/4/7	5								
15	2012/4/8		°							
16	2012/4/9	7.	6				┢╸┢╴┫┝╴┫┝		BRICSCAD(平均)	
17	2012/4/10	7.							RDICSCAD(是士)	
18	2012/4/11	8.	4						BRICSCHD(BC)()	
19	2012/4/12	7.	2							
20	2012/4/13	7.								
21	2012/4/14	4	9 6 8 6 0	-	N 0 7 1	9 1 00 0	N H O R	w 4 v v	···· 🙉 🔥 而不不不不	CAP5
22	2012/4/15	4.	3/2 3/2 3/2 3/3	3/3	/4/ /4/	4 4 4	4/1 4/1 4/1	4/1 4/1 4/1 4/1	- A 版 🧐 🤅	📂 🥨 кана 👻
23	2012/4/16	7	12/ 12/ 12/	12/012	012 012 012 012 012 012	012 012 012 012	12/ 12/	12/ 12/ 12/		
24	2012/4/17		20 20 20 20 20	20	лиии	NNN	20 20 20 20	20 20 20 20		J
25	2012/4/18	7.87	12			- 2002				8
26	2012/4/19	8.5	12							
27	2012/4/20	8.92	11							
28	2012/4/21	4.75	6							
14 4 1	・・・・使用数/		97			14		111		▶ .
ועדב				平均	: 13672.6293	9 データの個数	(:69 合計:9	02393.54	프 100% 🕣	- Ū - 🕀
1) 🌈 🖪 🕫 🖉	トップ 🧧	Microsoft Exce	al	🧑 6.jpg -	ペイント			トップ 🔌 🛓	15:58

10)グラフのパターンを選択すると指示した範囲の内容でグラフが作成されます。

(補足)

2016 年 7 月以降に提供^(※1)の「アルファテックライセンス管理サービス」メディア内に新たな FlexNet ライセンスログ 解析ツールを提供しております。

※1「17886」までのメディアには含まれておりません。

メディアドライブ: MISC¥Tools¥AlfatechLicenseLogAnalyzeEx

メディアドライブ: ¥DOC¥FlexNet ライセンスログ解析ツール.pdf

アルファテック製品/ビージェーソフト製品を FlexNet ネットワークライセンスをご使用の環境で、デバッグログを利用して ライセンスの使用状況を目視的に確認する為のツールです。

結果をグラフ(専用ウィンドウイメージ) で表示、または CSV に出力します。

使用方法につきましては「FlexNet ライセンスログ解析ツール.pdf」をご参照ください。

FlexNet ネットワークライセンス(BricsCADV16、V17 用)インストールガイド

2016年12月第1版発行

発行者

アルファテック株式会社 06-6300-0306(代表) http://www.alfatech.jp/